

# Aptiva リファレンス・ガイド

## 第 1 版

P/N : 20L2222

Aptiva Reference Guide

発行 : 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当 : ナショナル・ランゲージ・サポート

第 1 刷 1998.07

© Copyright International Business Machines Corporation 1998. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 1998

# 目次

|     |                              |
|-----|------------------------------|
| iii | 目次                           |
| 1   | <b>特記事項</b>                  |
| 3   | 商標                           |
| 4   | 本書の表記上の規則                    |
| 6   | 安全に正しくお使いいただくために             |
| 10  | 規制に関する情報                     |
| 13  | <b>快適にコンピューターを使用するために</b>    |
| 15  | 快適で能率のよい作業場所の配置              |
| 19  | <b>Aptiva ヘルプとソフトウェア</b>     |
| 21  | Aptiva ヘルプ                   |
| 23  | Readme ファイル                  |
| 23  | ハードウェアの導入と交換に関する指示           |
| 23  | ディスクの取り扱い                    |
| 24  | プログラムのインストール                 |
| 27  | <b>問題判別</b>                  |
| 29  | 問題の診断と回復                     |
| 30  | クイック・ステップ・ガイド                |
| 31  | 最初にする簡単な質問                   |
| 36  | ハードウェアの問題の解決方法               |
| 48  | ソフトウェアの問題の解決方法               |
| 52  | ディスプレイの問題の解決方法               |
| 55  | オーディオ、マルチメディア、およびモデムの問題の解決方法 |
| 58  | DVD の問題の解決方法                 |
| 59  | エラー・コードの処置                   |
| 69  | 工場で導入済みのプログラムとファイルの回復        |

|    |                    |
|----|--------------------|
| 71 | セットアップ・ユーティリティー    |
| 73 | セットアップ・ユーティリティーの使用 |
| 81 | ハードウェアの取り付けと取り外し   |
| 83 | コンピューターでの作業の準備     |
| 85 | ドライブの取り付けと取り外し     |
| 94 | システム・ボード構成要素の識別    |
| 99 | 索引                 |

# 特記事項





本書において、日本では発表されていない IBM 製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのような IBM 製品、プログラミングまたはサービスを日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBM ライセンス・プログラムまたは他の IBM 製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検査はお客様の責任で行っていただきます。

IBM および他社は、本書で説明する内容に関する特許権（特許出願を含む）、商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒160-0032

東京都港区六本木3丁目2-31AP 事業所

IBM World Trade Asia Corporation Intellectual Property Law & Licensing

---

## 商標

以下の用語は、米国およびその他の国の IBM コーポレーションの商標です。

- Aptiva
- Rapid Access
- ScrollPoint
- HelpCenter
- HelpWare

- IBM

その他の社名、製品名、およびサービス名は、他社の商標またはサービス・マークです。

Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の商標です。

---

## 本書の表記上の規則

### 記号

本書で使用している記号の説明を以下に示します。

| 記号  | 説明   |
|---|--|
|  注     | この記号は、ユーザーに特に役立つと思われる情報が記載されている箇所に使用されています。そのような情報には、発生する可能性がある問題についてユーザーの注意を促すものも含まれています。 |
|  重要    | この記号は、ご使用のコンピューターに付属するハードウェアやソフトウェアの損傷を防止するのに役立つ重要な情報が記載されている箇所に使用されています。                  |
|  注意! | この記号は、身体に傷害を負うのを防止するのに役立つ重要な情報が記載されている箇所に使用されています。   |
|  危険! | この記号は、重大な傷害や死につながる危険を避けるのに役立つ重要な情報が記載されている箇所に使用されています。                                     |



## 強調表示

本書ではいくつかの方法で本文を強調表示しています。それぞれの強調表示は、特定の目的で使用されています。

| 強調表示  | 目的   |
|-------|--|
| 太字    | 太字体は、クリックまたはダブルクリックするように指示されている画面上の項目を識別するのに使用しています。また、見出し、表のタイトル、および番号付きリストにも使用しています。 |
| 例     | 例の活字体は、キーボードから入力する必要があるテキストを表示するのに使用しています。   |
| イタリック | イタリック体は、プログラムや資料の正しい名称を示すのに使用しています。また、イタリック体は表の脚注や傍注でも使用しています。                         |
| “引用符” | 引用符は、ウィンドウ、画面、および見出しの名称を識別するのに使用しています。   |
| 下線    | 下線は、特定の語や指示を特に強調するために使用しています。  |

# 安全に正しくお使いいただくために

## 設置

IBM Aptiva パーソナル・コンピューターは、感電の危険性を完全に防止した構造になっています。IBM Aptiva PC の電源コードには3ピン・プラグが付いており、これを金属部分に接地する必要があります。正しく接地された電源コンセントに電源コードを接続するのは、コンピューターを据え付ける人の責任です。アダプターまたは延長コードを使用する場合は、あらかじめ専門家に援助を依頼してください。これらの装置は接地回路を中絶する可能性があります。

コンピューターを誤配線された電源コンセントに接続すると、重大な感電事故につながる危険があります。

感電事故の継続的な防止感電事故を継続的に防止するために、以下のステップを順守してください。

- コンピューターは正しい電圧の電源コンセントに接続してください。ご使用の電源コンセントの電圧がはっきりしない場合は、現地の電力会社にお問い合わせください。
- コンピューターに電源コード以外のケーブルが付属している場合は、電源コードのプラグを電源コンセントに差し込む前に、それらのケーブルを接続しておくことが必要です。また、それらのケーブルを取り外すときは、最初に電源コードをコンセントから抜いておくことが必要です。
- コンピューターが電話に接続されている場合、現地で雷が発生しているときには、電話コードに触れないください。
- コンピューターを使用および保管するときは、湿気のある場所を避けてください。
- 交換する部品は、必ず元の部品と同一または同等の特性のものを使用してください。それ以外の部品を使用すると、同じ安全機能が得られないことがあります。



### 注意!

ご使用のコンピューターはリチウム電池を使用しています。電池の取り扱いを誤ると、発火、破裂、発熱の危険があります。安全のために、次のことを守ってください。

リチウム電池は、充電、分解、加熱、または焼却しないでください。

同一または同等のタイプのリチウム電池と交換してください。

使用済みの電池は、地方自治体の条例または規則に従って廃棄してください。



## 危険！

感電事故を防止するために、次のことを守ってください。

雷の発生時には、ケーブルの接続や取り外し、あるいは本製品の設置、保守、または再構成は行わないでください。

電源コードは、正しく配線、接地されているコンセントに差し込んでください。

本製品を接続する機器も、正しく配線された電源コンセントに接続されていることが必要です。

電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。感電事故を防止するために、設置、移動、または製品のカバーを開けたり装置を接続したりするときには、下記のようにケーブルの接続、取り外しを行ってください。

- 本書で特別に指示されている以外の処置を行うと、傷害や感電の危険があります。このことは、特に電源、ディスプレイ、または内蔵モデムの保守や修理を行う場合に当てはまります。保守や修理は、必ず資格のある保守担当者が行ってください。

## ハードウェアの作業をするときの安全

コンピューターのカバーを開けるときは、コンピューターの損傷を防止するために、必ず指定された安全手順を順守する必要があります。お客様の安全のために、またコンピューターの安全のために、システム装置（ご購入のモデルに組み込まれている場合）のカバーを取り外す前に、8ページの“コンピューターの切断”のステップに従ってください。

### コンピューターの接続

コンピューターの接続は、次の手順で行います。

- 1 コンピューターとコンピューターに接続する周辺装置（専用の電源スイッチが付いている場合）の電源を切ります。
- 2 コード（ディスプレイ・コードなど）をコンピューターに接続します。
- 3 信号ケーブル（電話コードなど）を正しく接地されたコンセントに接続します。
- 4 電源ケーブルを正しく接地された電源コンセントに接続します。
- 5 コンピューターとそれに接続された周辺装置（専用の電源スイッチが付いている場合）の電源を入れます。

## コンピューターの切断

コンピューターの切断は、次の手順で行います。

- 1 コンピューターとそれに接続された周辺装置（専用の電源スイッチが付いている場合）の電源を切ります。
- 2 すべての電源ケーブルのプラグを電源コンセントから抜き取ります。
- 3 すべての信号ケーブル（電話コードなど）をコンセントから取り外します。
- 4 コンピューターに接続されているすべてのケーブルを取り外します。これには、電源コード、入出力ケーブル、およびコンピューターに接続されているその他のすべてのケーブルが含まれます。



### 注意！

本書に指定された以外の調整や手順を行うと、レーザーが放射される危険があります。

## CD-ROM と DVD-ROM ドライブの安全情報

ここでは、コンピューターの中の CD-ROM/DVD-ROM ドライブ（ご購入のモデルに組み込まれている場合）に関連する必要な安全情報を記載します。CD-ROM/DVD-ROM ドライブはクラス 1 レーザー製品であり、クラス 1 レーザー製品は危険と見なされていません。レーザー・システムと CD-ROM/DVD-ROM ドライブは、通常の操作時にはクラス 1 レベルを超えるレーザーは放射されないように設計されています。

CD-ROM/DVD-ROM ドライブには、ユーザーが調整したり、修理したりすることができる部品は含まれていません。このドライブの保守は、専門のサービス提供者が行わなければなりません。

### レーザーの適法証明

IBM パーソナル・コンピューターの一部のモデルは、CD-ROM または DVD-ROM ドライブを装備して工場から出荷されます。CD-ROM/DVD-ROM ドライブは、オプションとして別売りもされています。CD-ROM/DVD-ROM ドライブはレーザー製品です。CD-ROM/DVD-ROM ドライブは、クラス 1 レーザー製品について規定している米国の保健社会福祉省連邦規則 21 条 (DHHS 21 CFR) 副章 J (Department of Health and Human Services 21



### 危険！

CD-ROM/DVD-ROM のカバーを開けるとレーザーが放射されます。レーザー光線を直接浴びないようにしてください。光線を見つめたり、光学器械を使って直接見たりしないでください。

# 特記事項

Code of Federal Regulations (DHHS 21 CFR) Subchapter J) に準拠しています。また、このドライブは、クラス 1 レーザー製品の規格である国際電気標準会議 (IEC) 825 および CENELEC EN 60 825 にも準拠しています。

CD-ROM/DVD-ROM ドライブが付いている場合は、次のことに注意してください。

**注意!** 本書に指定された以外の調整や手順を行うと、レーザーが放射される危険があります。

CD-ROM/DVD-ROM ドライブのカバーを取り外すと、危険なレーザー放射を浴びるおそれがあります。CD-ROM/DVD-ROM ドライブの内部には、修理の対象となる部品は一切ありません。CD-ROM/DVD-ROM ドライブのカバーは取り外してはなりません。

一部の CD-ROM/DVD-ROM ドライブには、クラス 3A またはクラス 3B レーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

**危険!**

開けるとレーザーが放射されます。光線を見つめたり、光学器械を使って直接見たりしないでください。また、レーザー光線を直接浴びないようにしてください。

## 規制に関する情報



### 重要

IBM Aptiva は、日本国内でのみ使用ください。

### 電波障害自主規制届出装置についての情報

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

### 高調波自主規制届出装置についての情報

モデル 2153 および 2139 は「高調波ガイドライン適合品」です。

### モデムについての情報

本製品は、電気通信事業法による端末機器技術基準適合認定を受けた端末機器です。日本国内の公衆電話回線で、データ通信またはファックス通信にご利用いただけます。



機器名 : WS-5614WDD  
認定番号 : S97-2358-0

または



機器名 : F-1156HV/A5  
認定番号 : S98-2305-0

または



機器名 : WS-5614WMC  
認定番号 : S98-2308-0

- デジタル内線交換機、および、NTT 仕様と異なるアナログ内線交換機では、ご使用になれません。

- 導入にあつたては、必ずこの製品に同梱または、インストールされている下記の専用プログラムを使用してください。指定の方法以外でご使用になる場合は、この技術基準を遵守できない場合がありますので、十分にご注意ください。

◇ 専用プログラム : LT Win Modem.

## 取付工事に伴う調整

### ● 送出レベルの調整

本モデムは、電話回線への送出レベルを調整できます。送出レベルは、出荷時には -15dBm 以下にセットされていますが、使用回線の線路損失 L（電話局の交換設備から本モデムまでの、1500Hz における損失）が大きく支障をきたす場合には、損失に合わせて送出レベルを調整する必要があります。

- 電話回線へ本モデムを接続する際には、事前に線路損失を確認の上、送出レベルを調整した後に、ご使用ください。
- レベルの調整は、必ずアナログ第三種以上の資格を有する工事担当者が行ってください。
- 調整の方法については、お買い求めの特約店または弊社の担当営業員まで、照会をお願いいたします。有資格の工事担当者向けに、別冊のマニュアルが用意されています。（保守マニュアル SY-88-0508-00）

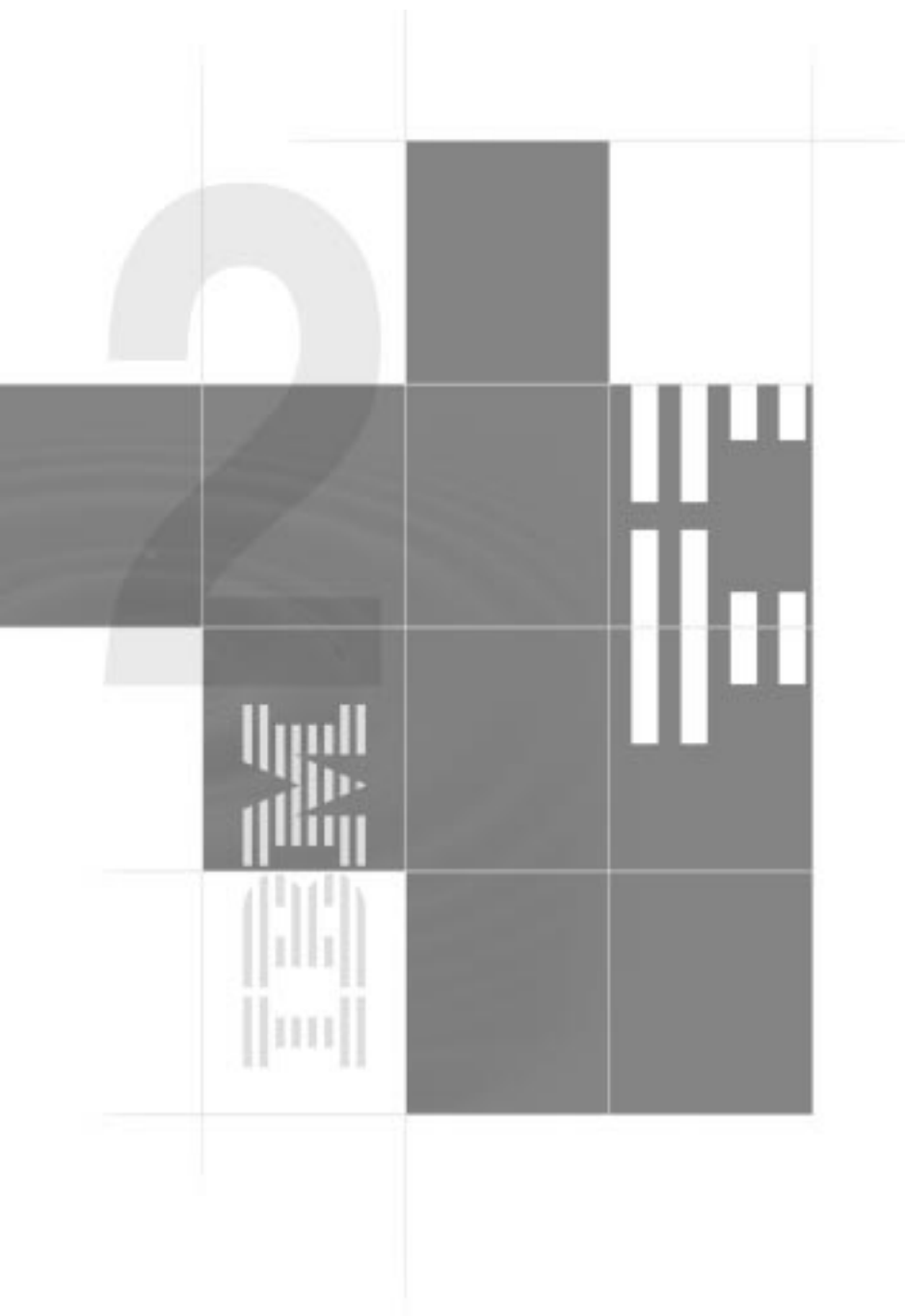
### ● 工事担当者の方へ

送出レベルの調整は、保守マニュアル（SY-88-0508-00）にしたがって行ってください。





快適にコンピューターを使用するために





# 快適にコンピューターを使用するために

## 快適で能率のよい作業場所の配置



### 作業場所の配置



#### 注

お買い上げいただいたコンピューターは、ここに表示されているものとは周辺装置が異なっている場合があります。

コンピューターを設置するときは、ディスプレイとキーボードを真正面に置いてください。マウスはキーボードの近くに置き、身体を片側に伸ばしたり、傾けたりせずにご利用できるようにしてください。

システム装置は、通常は机の下か机の横の床に置きます。作業机の下の足の置き場所の邪魔にならないことを確認してください。

机の上は、資料や装置を使いやすいように配置してください。マウスや電話のように普段よく使うものは手近に置いてください。

### 椅子の選択

- 背中をきちんと支えられる椅子を使用してください。

- 座ったときに、ももが床に平行になり、足が床や足台に楽に着くようにしてください。ひざは90度の角度になるようにします。

## ディスプレイの位置

- ディスプレイは見やすい距離に置いてください(通常は50～60cm離します)。腕の長さを使って、見やすい距離を測ることもできます。
- 画面の最上部が目と同じ高さか、やや下になるようにディスプレイを調整してください。
- 画面はいつもきれいに保ってください。清掃の方法は、ディスプレイに付属の説明書を参照してください。
- ディスプレイを窓の近くに置く場合は、カーテンやブラインドを使用して、直射日光が当たるのを最小限するようにしてください。カーテンやブラインドを開けているときは、必ずディスプレイを窓に直角の向きにして、まぶしさを軽減してください。ディスプレイを窓のすぐ前に置くのは避けてください。
- 室内の照明は、あまり明るくしないでください。作業面を明るくする必要がある場合は、作業面だけに照明を当て、ディスプレイの画面は照らさないようにしてください。
- 画面の輝度とコントラストを見やすいレベルに調節してください。1日のうちに室内の明るさが変化する場合は、この調節を何回か行う必要があるかもしれません。ディスプレイの調節の仕方は、ディスプレイに付属の説明書を参照してください。
- 長時間にわたって特定のものを凝視していると目が疲れます。画面を見る作業を長く続ける場合は、ときどき休憩をとることを忘れないでください。定期的に目を画面から離して、遠くの物を見てください。こうすると、目の筋肉の緊張がとけます。

# 快適にコンピューターを使用するために

## キーボードの位置

- キーボードの高さは、タイプしやすい位置にしてください。
- タイプするときは、前腕を床に平行に保ち、肩と上腕の力を抜いてください。ひじは90度の角度になるようにします。
- 手と指の力を抜いて、軽いタッチでタイプしてください。手首もまっすぐに伸びるようにしてください。
- コンピューターに付いているリストレストを使用する場合、タイプしている最中は手をリストレストや卓上に置かないでください。リストレストは休憩するときだけに利用してください。リストレストを使わない場合は取り外して、リストレストなしでキーボードを使用してください。

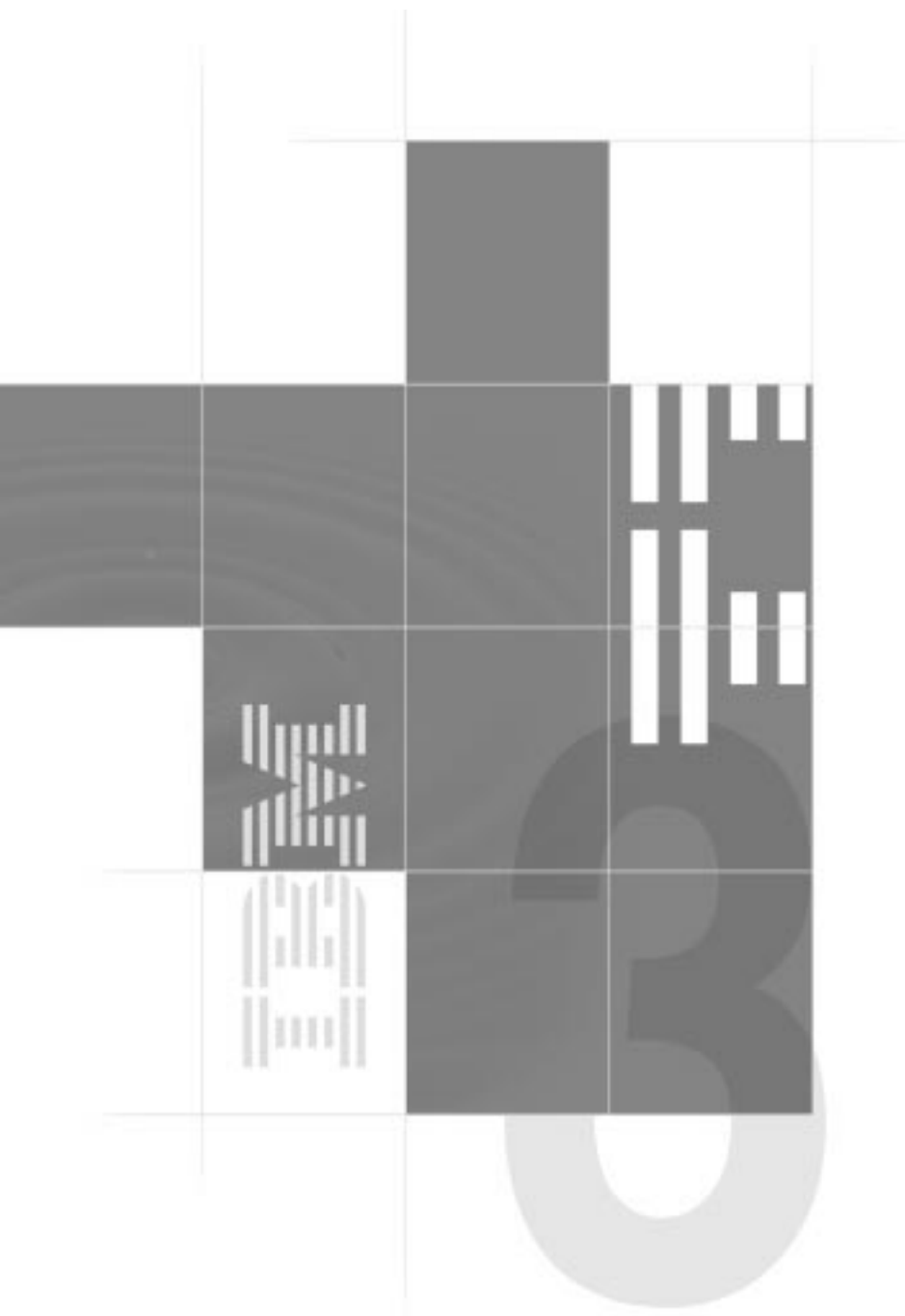
## マウスの位置

- マウスは、キーボードと同じ平面に置き、同じレベルになるようにしてください。身体を伸ばしたり、傾けたりせずにマウスを使用できるように、十分なスペースを設けてください。
- マウスを使用するときは、5本の指で軽くつかみ、静かにクリックしてください。マウスは、手首だけでなく腕全体を使って動かしてください。

コンピューターの使用方法について、さらに詳しい情報やヒントが必要な場合は、コンピューター上のチュートリアルをご覧ください。



# Aptiva ヘルプとソフトウェア







# Aptiva ヘルプとソフトウェア

ご使用のコンピューターには、いくつかのタイプの情報とソフトウェアが付属しています。この章には、以下に関する情報が含まれています。

- Aptiva ヘルプ
- Readme ファイル
- ハードウェアの導入や交換に関する指示の見つけ方
- CD または DVD で導入するソフトウェア

---

## Aptiva ヘルプ

ご使用のコンピューターは、さまざまな手順や指示をハード・ディスクに入れてお届けしています。この情報は「スタート」メニューから見つけることができます。

ハードウェアをアップグレードするとき、あるいはセットアップ・ユーティリティーを実行するときには、使用する手順をお読みになり、印刷することが必要になります。その他のトピックは、オンラインでご利用いただけます。

**「スタート」メニューを通して Aptiva ヘルプを開始するには、次のようにします。**

- 1 Windows の「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「プログラム」をクリックします。
- 3 「Aptivaware」をクリックします。
- 4 「Aptiva ヘルプ」をクリックします。
- 5 「これは何？」または「こんな時どうする？」をクリックします。

### こんな時どうする？

Aptiva ヘルプのこのセクションには、以下のようなさまざまなタスクに関する情報と指示が含まれています。

- 作業場所の配置

- サウンドとディスプレイの設定値の調整
- モデムのセットアップ
- コンピューターの取り扱い
- インターネットへの接続
- 電子メールを送る
- コンピューターの管理
- ソフトウェアの更新
- 問題からの回復
- ハードウェアのアップグレード

コンピューターにハードウェアを追加したり、取り外したりする場合は、作業を開始する前に、関連の“こんな時どうする？”トピックの内容を読み、印刷することが必要です。

## これは何？

ご使用のコンピューターについてさらに情報が必要な場合は、Aptiva ヘルプの「これは何？」セクションから入手できます。このセクションには、以下の情報が含まれています。

- Aptiva ヘルプとは？
- 2000年問題についての重要な情報
- インターネットとは？
- DVDとは？
- コンピューターの取り扱いと管理
- 構成
- ハードウェア
- アップグレードの準備
- ソフトウェア
- サポート

# Aptiva ヘルプとソフトウェア

---

## Readme ファイル

README.TXT ファイルからは、別のタイプのオンライン情報を入手することができます。通常、これらのファイルはソフトウェアに付属しており、追加機能に関する情報が入っています。README.TXT ファイルには、プログラムを最も効率的に実行するようにセット・アップする方法が示されていることもあります。

---

## ハードウェアの導入と交換に関する指示

ご使用の Aptiva のハードウェア構成要素をアップグレードまたは交換する場合、そのハードウェアの作業についての指示を印刷することが必要になります。

ご使用のコンピューターは、各種の情報をハード・ディスクに入れてお届けしています。これらの情報の使用方法については、21 ページの『Aptiva ヘルプ』を参照してください。

---

## ディスクの取り扱い



### 重要

ドライブ・トレイにクリップが付いている場合、ディスクを挿入する前に、クリップを引っ込めてあることを確認してください。

お買い上げのコンピューターには、コンパクト・ディスク (CD) ドライブまたはデジタル汎用ディスク (DVD) ドライブのいずれかが付いています。ドライブに CD または DVD を挿入するには、次のようにします。

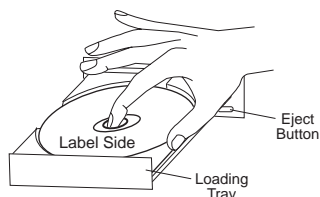
- 1 ドライブの「イジェクト」ボタンを押して、ロード・トレイを開けます。
- 2 スリーブまたはケースからディスクを取り出します。



## 注

場合によっては、ご購入のモデルのハード・ディスクの容量が不十分で、各プログラムの全導入を完了できないことがあります。そのような場合、すべてのプログラムを同じハード・ディスクに導入したいときには、“部分導入”オプションを使用してください。

- 3 トレイの円形のくぼみにディスクを置きます。ディスクのラベル面が上側になっていることを確認してください。



- 4 「イジェクト」ボタンを押して、ロード・トレイを閉めます。トレイの前部を軽く押して引っ込めることもできます。

## プログラムのインストール

Aptiva には、CD-ROM で提供される各種のソフトウェアが付属しています。プログラムの一部は、ハード・ディスクにインストール済みです。これらのプログラムを見つけるには、Windows の「スタート」メニューの中の「プログラム」メニューで調べます。

プログラムは小売りのバージョンとは異なっている場合があります。また、すべての資料や機能が含まれているとは限りません。

### 自動再生

Windows の自動再生機能が使用可能な場合は、ドライブにディスクを挿入すると、自動的にプログラムのインストール（または、音楽 CD の最初の曲）を開始します。自動再生についての詳しい情報は、Microsoft Windows のヘルプ・システムをご覧ください。

一部のプログラムは、ハード・ディスクに導入されているファイルの他に、CD または DVD も必要とします。プログラムがすでにインストール済みの場合、ディスクを挿入すると、自動再生機能は自動的にプログラムを開始します。

# Aptiva ヘルプとソフトウェア

Application CD-ROM に収録されているソフトウェアは、*Aptiva* インストーラーを使用してプログラムを導入することができます。

## Aptiva インストーラー

*Aptiva* インストーラーを使用してプログラムを導入するには、次のようにします。

- 1 Application CD-ROM を挿入します。
- 2 Windows の「スタート」ボタンをクリックし、「**Aptiva** インストーラー」を選択して、*Aptiva* インストーラーを開始します。
- 3 「インストールの開始」タブをクリックします。
- 4 「検索」ボタンをクリックします。
- 5 *Aptiva* インストーラーは、Application CD-ROM 内のプログラムを表示します。「インストール」をクリックします。
- 6 導入されたプログラムが、「インストールされているプログラム」タブに追加されます。

*Aptiva* インストーラーは、*Aptiva* インストーラーを使用して導入したプログラムを削除（アンインストール）するのにも使用できます。



# 問題判別





## 問題の診断と回復

---

この章には、ご使用のコンピューターに発生する可能性がある一般的な問題を解決するのに役立つ情報が収められています。

この章に目を通して、発生した問題に一致する問題の説明やエラー・コードを見つけてください。説明が見つかったら、問題を解決するための手順に従ってください。問題によっては、複数のステップが記載されている場合があります。問題が解消されるまで、ステップに従うことが必要です。問題の説明の中には、実行しなくても済むステップが含まれている場合もあります。

この章に含まれている情報は、Aptiva パーソナル・コンピューターの複数のモデルを対象としています。お買い上げのコンピューターには、ここに説明されているハードウェアで一部のものは含まれていないことがあります。

説明されているハードウェアがご使用のコンピューターに搭載されていない場合は、問題判別情報の一部のものは該当しないことがあります。たとえば、ご購入のモデルにラピッド・アクセス・キーボードが組み込まれていない場合、ラピッド・アクセス・キーボードに関する説明は適用されません。ご使用のコンピューターに搭載されているハードウェアの手順に従ってください。

この章に記載されているステップに従っても問題が解消されず、さらにヘルプが必要な場合は、同梱されている「IBM サービスのご案内」の冊子を参照してください。

---

## クイック・ステップ・ガイド

コンピューターに問題があると思われる場合、以下のクイック・ステップ・ガイドを使用して、問題の性質を調べることができます。

ハードウェアまたはソフトウェアを追加しましたか？

はい、ハードウェアを追加しました。  
36 ページの『ハードウェアの問題の解決方法』へ進んでください。

いいえ、ハードウェアまたはソフトウェアを追加しませんでした。31 ページの『最初にする簡単な質問』へ進んでください。

はい、ソフトウェアを追加しました。  
48 ページの『ソフトウェアの問題の解決方法』へ進んでください。

## 最初にする簡単な質問

コンピューターとディスプレイの両方の電源ランプが点灯していますか？

はい

システムとディスプレイに通電しています。32 ページの『システムの電源を入れた後でピーブ音がしましたか？』を参照してください。

いいえ

- 1 コンピューターとディスプレイの「電源」ボタンを押して、電源が入っていることを確認してください。
- 2 システム装置の背面の電源に付いている電源スイッチがオン位置（“1” がオン、“0” がオフ）にあることを確認してください。この電源スイッチは、すべてのコンピューターに付いているわけではありません。
- 3 システム装置とディスプレイのケーブルが正しくしっかり接続されていることを確認してください。システム装置とディスプレイの電源コードのプラグが電源コンセントに差し込まれていることを確認してください。セットアップガイドに、ケーブルとコードの接続方法が示されています。
- 4 使用している電源コンセントが壁スイッチまたは調光スイッチによって制御されていないことを確認してください。  
複数のコンセント装置（パワー・サージ・プロテクターやパワー・ストリップなど）を使用している場合、それらの装置のプラグが差し込まれ、電源が入っていることを確認してください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

システムの電源を入れた後でピープ音がしましたか？

---

はい

ハードウェアに問題がある可能性があります。

- ハードウェアを追加した場合は、それを取り外し、コンピューターを再始動して、問題が解消されるかどうかを見てください。問題が解消された場合は、ハードウェアが正しく取り付けられていなかった可能性があります。ハードウェアを取り付け直してください。システム装置へのハードウェアの取り付け方法については、Aptiva ヘルプを見てください。問題が解消されない場合は、36 ページの『ハードウェアの問題の解決方法』を参照してください。
- システム・メモリー・モジュールが正しく取り付けられていることを確認してください。メモリーが正しく取り付けられていないと、システムは数回ピープ音を出します(2回の長いピープ音と3回の短いピープ音の順で)。メモリー・モジュールを取り付け直してください。2回の長いピープ音と3回の短いピープ音とは異なる順序のピープ音を聞いた場合、あるいはメモリー・モジュールの取り付けが正しい場合は、「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。ハードウェアを追加していない場合は、「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

はい、2回以上

システム装置に問題があります。59 ページの『エラー・コードの処置』の節で、エラー・コードまたはメッセージを見つけてください。

いいえ

システムの始動テスト (POST) が正常に実行されました。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

ディスプレイになにか異常を示すものが表示されていますか？

はい

次の場合には、システム装置に問題がある可能性があります。

- エラー・メッセージが表示されている。59 ページの『エラー・コードの処置』でエラー・メッセージを見つけて、指示されている処置を行ってください。
- エラー・コードとメッセージが含まれている行が表示されている。  
メッセージの指示に従ってください。セットアップ・ユーティリティの使用法については、73 ページの『セットアップ・ユーティリティの使用』を参照してください。
- 点滅するカーソルが表示されている。  
「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。
- 画面のイメージが読み取れない（イメージがスクロール、点滅、またはフラッシュしている）。  
使用しているディスプレイではサポートされないディスプレイ設定値を選択している可能性があります。次の手順に従って、ディスプレイの構成をやり直してください。
  - a. コンピューターを再始動します。必要な場合は、システム装置の電源を切り、15 秒間待ってから再び電源を入れます。
  - b. 始動時に IBM Aptiva のロゴ画面が表示されたら、Ctrl キーを押し続けます。"Microsoft Windows 98 Startup Menu" が起動します。
  - c. 「3. Safe mode」を選択して、**Enter** を押します。これで、コンピューターは工場で設定された Windows 構成設定値を使用して始動します。
  - d. コンピューターの始動が完了したら、「マイ コンピュータ」デスクトップ・アイコンをダブルクリックします。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

ディスプレイになにか異常を示すものが表示されていますか？

---

- e. 「マイ コンピュータ」 ウィンドウで、「コントロール パネル」 アイコンをダブルクリックします。
  - f. 「コントロール パネル」 ウィンドウで、「画面」 アイコンをダブルクリックします。
  - g. 「画面のプロパティ」 ウィンドウで、
    - i. 「設定」 タブをクリックします。
    - ii. 「詳細 ...」 ボタンをクリックします。
    - iii. 「アダプタ」 タブをクリックします。
  - h. 「変更」 ボタンをクリックし、続く指示に従ってください。さらにヘルプ情報が必要な場合は、オペレーティング・システムのヘルプ・ファイル、またはディスプレイに付属のマニュアルを参照してください。
  - i. コンピューターを再始動します。再始動するのに通常より多少時間がかかることがあります。
- 表示される色が悪い
    - ディスプレイのケーブルがシステム装置に正しくしっかり接続されていることを確認してください。セットアップガイドに、ケーブルの接続方法が示されています。
    - ディスプレイの消磁が必要になることがあります。ご購入のディスプレイに手動による消磁機能が付いている場合、この機能の使い方については、ディスプレイに付属のマニュアルを参照してください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

---

ディスプレイになにか異常を示すものが表示されていますか？


はい

- ディスプレイに問題がある可能性があります。
  - a. ディスプレイのケーブルが正しくしっかり接続されていることを確認してください。セットアップガイドに、ケーブルの接続方法が示されています。
  - b. ディスプレイの輝度とコントラストを調整してください。調整の仕方は、ディスプレイに付属のマニュアルを参照してください。
- ビデオ・アダプター・カードを追加し、内蔵のビデオ・コントローラーを使用不可にした場合は、次のことを確認してください。
  - a. ディスプレイのケーブルが、新たに取り付けたビデオ・アダプター・カードに正しく接続されている。
  - b. BIOS が、アダプター・カードを 1 次ビデオ・アダプターとして使用するよう構成されている。BIOS オプションに関する情報は、ディスプレイの画面がまだ表示可能であれば、Aptiva ヘルプの「構成」トピックを見てください。
- システム・ボードのバッテリーに問題がある可能性があります。バッテリーの交換方法については、Aptiva ヘルプを見てください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## ハードウェアの問題の解決方法

| 問題  | 回復処置   |
|---|--|
| 始動テスト (POST) 時に<br>ピープ音がする  | 32 ページの『システムの電源を入れた後でピープ音が<br>しましたか?』の節に示されている問題判別の手順を参<br>照してください。  |
| 画面が黒い (エラー・<br>コードなし)   | メモリー・モジュールまたはアダプター・カードを取り<br>付けなかった場合は、「IBM サービスのご案内」を参照<br>して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。  |
| エラー・コードが表示さ<br>れる   | エラー・コードが表示されている場合は、59 ページの<br>『エラー・コードの処置』で該当のコードを見つけ、指示<br>されている処置を行ってください。   |
| 警告なくコンピューター<br>の電源が切れる  | <ol style="list-style-type: none"><li>1 スタンドバイ機能が使用可能の場合、システム装置の<br/>前面の電源ボタンを押してください。</li><li>2 システム装置とディスプレイの電源コードのプラグが電<br/>源コンセントにしっかり差し込まれていることを確認し<br/>てください。</li><li>3 ケーブルがシステム装置に正しくしっかり接続されてい<br/>ることを確認してください。</li><li>4 ヒューズの熔断、回路ブレーカーの引きはずし、あるい<br/>は電源障害がないか調べてください。</li><li>5 システムの電源コードを電源コンセントから抜き、15 秒<br/>待ってから、再び電源コードをコンセントに差し込んで<br/>ください。コンピューターがすぐに始動しない場合は、<br/>システムの電源ボタンを押してください。</li><li>6 システム装置の内部にハードウェアを追加した場合は、<br/>電源ケーブル・コネクタがしっかり接続されているこ<br/>とを確認してください。</li></ol> |
|  | 以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、<br>別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘル<br>プセンターにお問い合わせください。  |




## 問題

## 回復処置

パスワードが受け入れられない

正しいパスワードを入力したことを確認してください。パスワードを忘れてしまった場合は、「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

パスワードを入力できない

- 1 キーボードがオンになっていることを確認してください。始動テスト (POST) 時にキーボード・ランプは点滅し、Num Lock ランプは始動テスト (POST) 時に点灯して、テスト後も点灯したままになります。
- 2 正しいパスワードを入力したことを確認してください。
- 3 キーボード・ケーブルがシステム装置の背面のキーボード・ポートに (マウス・ポートではなく) 正しくしっかり接続されていることを確認してください。キーボード・ポートにはグレーのラベルが付いており、その横に次の記号が表示されています。 



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## 問題

## 回復処置

---

ディスクットの情報を読み取れない  
CD、DVD、または Zip  
ディスク

- 1 正しいタイプのディスクットを使用しており、ディスクットが正しくフォーマットされていることを確認してください。
- 2 ディスクット、CD、DVD、または Zip ディスクがドライブに正しく挿入されていることを確認してください。
- 3 CD がきれいで、傷がないことを確認してください。
- 4 正常であることが分かっているディスクット、CD、DVD、または Zip ディスクを使用して、読み取りを試してみてください。正常に読み取れた場合は、最初のディスクット、CD、DVD、または Zip ディスクが損傷している可能性があります。正常なディスクット、CD、DVD、または Zip ディスクの情報も読み取れない場合は、ドライブに問題がある可能性があります。
- 5 電源ケーブルと信号ケーブルが、ドライブの背面にしっかり接続されていることを確認してください。ドライブの作業の方法については、Aptiva ヘルプを見てください。
- 6 正しいディスクット・ドライブが選択されており、そのディスクット・ドライブがセットアップ・ユーティリティで使用可能にされていることを確認してください。セットアップ・ユーティリティのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

---

## 問題

## 回復処置

---

ディスクまたは Zip  
ディスクに情報を送れない  
(書き込めない)

- 1 正しいタイプのディスクを使用しており、ディスクが正しくフォーマットされていることを確認してください。
- 2 ディスクが書き込み禁止になっていないことを確認してください。
- 3 正しいドライブに情報を送っていることを確認してください。
- 4 ディスクに情報を収容できる十分なスペースがあることを確認してください。(フォーマット済みのブランク・ディスクを使ってみてください。)
- 5 正常なことが分かっているディスクに書き込んでみてください。正常に書き込めた場合は、最初のディスクが損傷しています。正常なディスクにも情報を書き込めない場合は、ディスク・ドライブに問題がある可能性があります。
- 6 電源ケーブルと信号ケーブルが、ドライブの背面にしっかり接続されていることを確認してください。ドライブの作業の方法については、Aptiva ヘルプを見てください。
- 7 正しいディスク・ドライブが選択されており、そのディスク・ドライブがセットアップ・ユーティリティで使用可能にされていることを確認してください。セットアップ・ユーティリティのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

---

## 問題

## 回復処置

---

ディスクットのフォーマットができない

- 1 ディスクットが書き込み禁止になっていないことを確認してください。
- 2 正しいタイプのディスクットを使用していることを確認してください。
- 3 電源ケーブルと信号ケーブルが、ドライブの背面にしっかりと接続されていることを確認してください。ドライブの作業の方法については、Aptiva ヘルプを見てください。
- 4 正しいディスクット・ドライブが選択されており、ディスクット・ドライブ・コントローラーがセットアップ・ユーティリティーで使用可能にされていることを確認してください。セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

---

## 問題

## 回復処置

コンピューターの電源を入れると、メッセージ“Insert a systemdiskette and press Enter to reboot”が表示される

- 1 ディスケット・ドライブからディスクを取り出して、コンピューターを再始動してください。
- 2 コンピューターを再始動し、セットアップ・ユーティリティーを使用して、始動装置が正しく設定されていることを確認してください。始動装置として指定したドライブの「ディスク・ドライブ」オプションが正しく設定されていることを確認してください。セットアップ・ユーティリティーの開始方法については、75 ページの『セットアップ・ユーティリティーの開始』を参照してください。
- 3 電源ケーブルと信号ケーブルが、システム装置のハード・ディスクの背面にしっかり接続されていることを確認してください。
- 4 *Product Recovery* CD-ROM を CD または DVD ドライブに挿入し、**Ctrl + Alt + Delete** を押してください。画面の指示に従って、オペレーティング・システム・ファイルをコンピューターのハード・ディスクに復元してください。  
場合によっては、この回復処理時にハード・ディスクのフォーマットが行われ、すべてのファイルが消去されることがあります。
- 5 オペレーティング・システム・ファイルをコンピューターのハード・ディスクに復元できない場合は、「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## 問題

## 回復処置

オーディオ・ディスクをCDまたはDVDドライブに挿入しても自動的に再生されない

自動再生が使用可能になっていることを確認してください。自動再生を使用可能にするには、次の手順で行います。

- 1 Windows のデスクトップで、「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「マイ コンピュータ」ウィンドウで、「コントロールパネル」フォルダーをダブルクリックします。
- 3 「コントロールパネル」ウィンドウで、「システム」アイコンをダブルクリックします。
- 4 「システム プロパティ」ウィンドウで、「デバイス マネージャ」タブをクリックします。
- 5 「CD-ROM」または「DVD-ROM」リスト項目をダブルクリックした後、リストされた「CD-ROM」オプションをダブルクリックします。
- 6 「プロパティ」ウィンドウで、「設定」タブをクリックします。
- 7 「オプション」で、「挿入の自動通知」チェック・ボックスをクリックして、ボックスにチェック印を付けます。
- 8 「OK」をクリックします。




以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## 問題

## 回復処置

キーボードが作動しない、または一部のキーしか作動しない

- 1 キーボード・ケーブルがシステム装置の背面のキーボード・ポートに(マウス・ポートではなく)正しくしっかり接続されていることを確認してください。


キーボード・ポートにはグレーのラベルが付いており、その横に次の記号が表示されています。

- 2 すべてのキーを押してみて、動かないキーがないことを確認してください。
- 3 ラピッド・アクセス・キーなどのキーを使用不可にしていることを確認してください。
- 4 タイプ入力可能なプログラムを使用していることを確認してください。プログラムによっては、キーボードから入力できないものがあります。
- 5 システムの電源を切り、15秒待ってから、再び電源を入れてください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

マウスを動かしてもカーソルが動かない

- 1 マウスをマウス・パッド(または、同じような表面)の上に移して、そこで動かしてみてください。
- 2 マウスを使えるプログラムを使用していることを確認してください。プログラムによっては、マウスを使えないものがあります。
- 3 マウス・ケーブルがシステム装置の背面のマウス・ポートに(キーボード・ポートではなく)正しくしっかり接続されていることを確認してください。  
マウス・ポートにはグリーンのラベルが付いており、その横に次の記号が表示されています。
- 4 システムの電源を切り、15秒待ってから、再び電源を入れてください。
- 5 マウスを清掃してください。清掃は、次の手順で行います。
  - a. コンピューターの電源を切ります。
  - b. マウス・ケーブルをシステム装置から抜き取ります。
  - c. マウスを裏返しにします。マウスの底面の押さえを左に回して外します。マウスの右側を上にとすると、押さえとボールが外れます。
  - d. マウスの外側と押さえを、湿った布でふきます。マウスの中のローラーも必ずふいてください。
  - e. ボールと押さえを挿入します。押さえを右に回して固定します。
  - f. マウス・ケーブルをシステム装置に再接続します。
  - g. コンピューターの電源を入れます。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。



## 問題

## 回復処置

スクロールポイント・マウスがウィンドウをスクロールしない

プログラムがスクロール・マウスをサポートしていることを確認してください。プログラムによっては、スクロール・マウスをサポートしないことがあります。


モデム/通信エラー

- 1 電話コードがしっかり接続されていることを確認してください。セットアップガイドに、コードの接続方法が示されています。
- 2 コンピューターを差し込んであったのと同じ電話コンセントに、正常に作動する別の電話機を接続して、電話回線が正常に機能することを確認してください。この場合、電話が正常にかかることを確認します。
- 3 正しい番号を呼び出していること、正しい通信設定値を使用していることを確認してください。さらにヘルプ情報が必要な場合は、使用している通信ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- 4 別のコンピューターとの通信中に、だれも電話を使用していないことを確認してください。
- 5 ある通信プログラムは作動するが、別の通信プログラムは作動しない場合には、構成に問題がある可能性があります。さらにヘルプ情報が必要な場合は、使用している通信ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- 6 モデム・コードがアナログ電話回線に接続されていることを確認してください。現地の電話会社に問い合わせると、電話回線のタイプが分かります。
- 7 モデム・アダプター・カードが正しく取り付けられていることを確認してください。アダプター・カードの取り付け方法については、Aptiva ヘルプを見てください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## プリンター・エラー

- 1 プリンターの電源が入っていることを確認してください。
- 2 プリンター・ケーブルが、プリンターとシステム装置の背面の平行(プリンター)ポートに正しくしっかり接続されていることを確認してください。  
平行・ポートの横には次の記号が付いています。
- 3  プリンターの電源コードが電源コンセントにしっかり接続されていることを確認してください。
- 4 プリンターが作動可能になっていることを確認してください。(一部のプリンターでは、作動可能ランプが点灯していれば(ただし、点滅していない)プリンターは作動可能です。)
- 5 プリンター・ドライバーが必要な場合、ソフトウェアで正しいプリンター・ドライバーが選択されていることを確認してください。プリンター・ドライバーの選択については、オペレーティング・システムに付属のオンライン・ヘルプ・ファイルを見てください。
- 6 用紙とカートリッジ(インク、リボン、トナーなどの印刷材料が入っている)が正しく装着されていることを確認してください。
- 7 プリンターとコンピューターの電源を切り、15秒待ってください。その後で、プリンターの電源を先に入れ、次にコンピューターの電源を入れてください。
- 8 Windows から印刷している場合、「デバイス マネージャ」を見て、プリンターで使用されているポートに何らかのエラー記号が表示されていないか調べてください。「デバイス マネージャ」については、オペレーティング・システムに付属のオンライン・ヘルプ・ファイルを見てください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## 問題

## 回復処置

### プリンター・エラー

- 9 DOS から印刷している場合、セットアップ・ユーティリティーで「Parallel Port」オプションが「Disabled」にされていないことを確認してください。セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプの「構成」トピックを見てください。

**注：**プリンターはECPモードをサポートしない場合があります。セットアップ・ユーティリティーでパラレル・ポートの「Operation Mode」を「Standard」に設定してください。

- 10 セットアップ・ユーティリティーの「Parallel Port」の「Operation Mode」オプションが、使用しているプリンターに一致するモードに設定されていることを確認してください。セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプの「構成」トピックを見てください。

- 11 パラレル・ポートに他の装置が接続されている場合、それらを切り離して、プリンターだけを接続してください。再度、印刷を試みてください。

- 12 長さが1.8 mを超えるプリンター・ケーブルは使用しないでください。

さらにヘルプ情報が必要な場合は、プリンターに付属のマニュアルを参照してください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

---

## ソフトウェアの問題の解決方法

### 問題

### 回復処置

---

コンピューターがスタンバイ状態にならない

システムがキーボード、マウス、またはドライブの動きを検出するとスタンバイ状態から出る以下のステップを、システム上で試みてください。

- 1 マウスやキーボードに触れないでください。また、モデムやドライブを使用するプログラムは開始しないでください。このような動作をすると、タイマーがリセットされます。
- 2 マウスが振動のない表面に置かれていることを確認してください。マウスをコンピューターの上や他の機械の上に放置すると、設定時間が経過する前にタイマーがリセットされることがあります。
- 3 設定した時間よりも数分余計に待ってみてください。Windows はメモリー・スワップのために定期的にハード・ディスクにアクセスし、その度にタイマーがリセットされます。Windows は、ユーザーが最後にコンピューターに触れた後、短時間ハード・ディスクにアクセスすることがあります。
- 4 CD または DVD ドライブの自動再生機能を使用不可にしてみてください。オートプレイが使用可能になっていると、Power Management ソフトウェアが CD または DVD ドライブの動作を検出し、コンピューターをスタンバイ状態に入れられない可能性があります。CD および DVD ドライブの検査方法については、Aptiva ヘルプの「構成」トピックを見てください。



定期的に IBM アップデート・コネクタを使用して、工場コンピューターにインストール済みのソフトウェアに使用できる更新版を調べてください。IBM アップデート・コネクタについては、Aptiva ヘルプを見てください。

以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

---

## 問題

## 回復処置

セットアップユーティリティの「Power Management」メニューのパラメーター「Power Switch <4 sec.」が「Power Off」に設定されているときに、電源ボタンを押してもシステムの電源が切れない

- 1 Windows を稼働している場合、「コントロールパネル」の「電源の管理」ユーティリティを調べてください。システムはこの設定に従って動作しているはずですが。
- 2 Windows の外 (たとえば、DOS) にいる場合は、システムの電源を切るためには、電源ボタンを 4 秒間押し続けることが必要な場合があります。  
保守の依頼については、「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

セットアップユーティリティの「Power Management」メニューのパラメーター「Power Switch <4 sec.」が「Suspend」に設定されているときに、電源ボタンを 4 秒以上押してもシステムの電源が切れない

Windows を稼働している場合、「コントロールパネル」の「電源の管理」ユーティリティを調べてください。システムはこの設定に従って動作しているはずですが。

保守の依頼については、「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。



定期的に IBM アップデート・コネクタを使用して、工場ですべてのソフトウェアにインストール済みのソフトウェアに使用できる更新版を調べてください。IBM アップデート・コネクタについては、Aptiva ヘルプを見てください。

以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## 問題

## 回復処置

電話が鳴り、コンピューターはスタンバイ状態から出るが、ファックスを受信できない

- ファックス・ソフトウェアがオープンし、ファックスを受信するように設定されていることが必要です。ファックス・ソフトウェアに付属のマニュアルを参照して、電話に応答するようにセットアップされていることを確認してください。
- 場合によっては、電話のリング音がさらに鳴ってからコンピューターがファックスを受信し始めることがあります。電話のリング音をさらに数回鳴らしておいてください。
- モデムからシステム・ボードへの「ウェイクアップ・オン・リング」ケーブルを調べて、しっかり接続されていることを確認してください(このケーブルは、すべてのシステムに付いているわけではありません)。

ウェイクアップ・オン・リング時にコンピューターがスタンバイ状態から出ない

- 1 モデムからシステム・ボードへの「ウェイクアップ・オン・リング」ケーブルを調べて、しっかり接続されていることを確認してください(このケーブルは、すべてのシステムに付いているわけではありません)。
- 2 コンピューターをスタンバイ状態に入れるときには、モデム・ソフトウェアがオープンしていることが必要です。

スタンバイ状態から出たときにコンピューターがメッセージを受信しない

- 1 モデムからシステム・ボードへの「ウェイクアップ・オン・リング」ケーブルを調べて、しっかり接続されていることを確認してください(このケーブルは、すべてのシステムに付いているわけではありません)。
- 2 応答するマシンのソフトウェアがオープンし、メッセージを受信するように設定されていることが必要です。



定期的に IBM アップデート・コネクターを使用して、工場でコンピューターにインストール済みのソフトウェアに使用できる更新版を調べてください。IBM アップデート・コネクターについては、Aptiva ヘルプを見てください。

以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## 問題

## 回復処置

---

システム「電源」ボタンを押してもコンピューターの電源が切れない

- システム装置の前面の「電源」ボタンを押し、4秒間押し続けたままにしてください。



定期的に IBM アップデート・コネクタを使用して、工場でコンピューターにインストール済みのソフトウェアに使用できる更新版を調べてください。IBM アップデート・コネクタについては、Aptiva ヘルプをご覧ください。

以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

---

---

## ディスプレイの問題の解決方法

### 問題

### 回復処置

---

画面に色が出ない

- 1 ディスプレイの画面が正しく調整されていることを確認してください。
- 2 磁気干渉の原因になる機器 (別のディスプレイ、外付けオーディオ・スピーカー、マイクロホンなど) からディスプレイを離してください。(一部のモデルのコンピュータにはマイクロホンとスピーカーが付属していますが、磁気干渉を防止するシールド処理が施されています。) ディスプレイの電源を切り、30秒待ってから、再びディスプレイの電源を入れてください。
- 3 新しいカラー・パレット設定値を選択してください。カラー・パレットの設定については、オペレーティング・システムに付属のオンライン・ヘルプ・ファイルを見てください。
- 4 ディスプレイのケーブルがシステム装置に正しくしっかり接続されていることを確認してください。
- 5 使用可能な別のディスプレイがあれば、それをシステム装置に接続してみてください。問題が発生しない場合は、元のディスプレイに何か障害があります。
- 6 ディスプレイの消磁が必要になることがあります。お買い上げのディスプレイに手動による消磁機能が付いている場合は、ディスプレイに付属のマニュアルを参照して、この機能の使い方を調べてください。

ディスプレイ画面の画像の形状がおかしい

ディスプレイの画面調整を行ってください。調整の仕方は、ディスプレイに付属のマニュアルを参照してください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

---



## 問題

## 回復処置

ディスプレイのフォントが切れたり、くっついたりする

ディスプレイの解像度によってフォント・サイズを変更できますが、プログラムによっては大きいサイズのフォントはサポートされません。大きいフォントを使用すると、文字が切れたり、くっついたりして表示されます。画面プロパティーの設定値を調べて、小さいフォントが選択されていることを確認してください。画面プロパティーの設定については、オペレーティング・システムに付属のオンライン・ヘルプ・ファイルを見てください。

画面が真っ白になる

- 1 ディスプレイのケーブルがシステム装置に正しくしっかり接続されていることを確認してください。
- 2 システムの電源が入っていることを確認してください。
- 3 使用可能な別のディスプレイがあれば、それをシステム装置に接続してみてください。問題が発生しない場合は、元のディスプレイに何か障害があります。

ディスプレイの画像がちらつく、または安定しない

- 1 ディスプレイの設定を、より低い解像度、より低いカラー設定値、またはより高いリフレッシュ・レートにしてください。画面プロパティーの設定については、オペレーティング・システムに付属のオンライン・ヘルプ・ファイルを見てください。
- 2 近くに別のディスプレイがある場合は、2台のディスプレイを相互に離してください。

画面がひどく黄色、マゼンタ(紫または赤みがかった青)、またはシアン(青緑)がかって見える

ディスプレイに付属のマニュアルを参照してください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## 問題

## 回復処置

前に使用したときの調整値が保存されていない

ディスプレイに保存できる個数より多くのユーザー定義モードを選択した可能性があります。この場合は、最も古いモード値が最新のモード値で置き換えられます。ディスプレイの調節ボタンを使用して、使用している表示モードに合わせてイメージを調節してください。

次のいずれかの症状がでる

- 画面に何も表示されない
- カーソルが表示されない
- カーソルしか表示されない
- 画面が読めない
- ディスプレイのその他の問題

- 1 スタンドバイ機能を使用可能にした場合は、システム装置の前面の電源ボタンを押して、システムをスタンバイ状態から出してください。
- 2 ディスプレイのケーブルがシステム装置に正しくしっかり接続されていることを確認してください。
- 3 システム装置とディスプレイの電源コードのプラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていることを確認してください。
- 4 システムとディスプレイの電源が入っていることを確認してください。(電源が入っているときは、コンピューターとディスプレイ上の電源ランプが点灯しています。)
- 5 ディスプレイの画面調整を行ってください。
- 6 使用しているソフトウェア・プログラムで背景色を変更するか、もしくは異なるソフトウェア・プログラムを使用してみてください。
- 7 システムの電源コードを電源コンセントから抜き、15秒待ってから、再び電源コードをコンセントに差し込んでください。コンピューターを再始動してください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## オーディオ、マルチメディア、およびモデムの問題の解決方法

### 問題

### 回復処置

Windows で音が聞こえない

- 1 コンピューターの音量調節を調べてください。音量の設定については、オペレーティング・システムに付属のオンライン・ヘルプ・ファイルを見てください。
- 2 スピーカーが正しく接続されていることを確認してください。スピーカーに電源ランプが付いている場合は、ランプが点灯していることを確認してください。スピーカーの接続方法については、セットアップガイドまたはスピーカーに付属のマニュアルを参照してください。
- 3 使用しているプログラムが Windows で使用するよう指定されていることを確認してください。プログラムが DOS で実行するよう指定されている場合は、Windows サウンド機能を使用しないで、SoundBlaster Pro または SoundBlaster エミュレーションを使用するように構成する必要があります。

DOS ゲームまたは DOS プログラムを使用しているときに音が聞こえない

- 1 そのゲームまたはプログラムが SoundBlaster Pro または SoundBlaster エミュレーションを使用するように構成されていることを確認してください。サウンド・カードの設定値の選択については、そのゲームまたはプログラムに付属のマニュアルを参照してください。
- 2 DOS ゲームまたはプログラムを DOS モードで実行する方法については、Aptiva ヘルプを参照してください。
- 3 コンピューターを遮断し、MS-DOS モードで再始動してください。そしてプログラムを再度、実行してみてください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## 問題

## 回復処置

ジョイスティックまたはゲームパッドが作動しない、または正しく作動しない

- 1 ジョイスティックまたはゲームパッドがコンピューターに正しく接続されていることを確認してください。
- 2 ジョイスティックまたはゲームパッドを再調整することが必要な場合があります。ジョイスティックまたはゲームパッドの再調整は、Windows の「コントロールパネル」の「ジョイスティック」セクションで行うことができます。
- 3 問題判別についての追加情報は、ジョイスティックまたはゲームパッドに付属のマニュアルを参照してください。

モデムを使用しようとしたときに通信プログラムがモデムを検出できない

- 1 モデムを追加した場合は、正しく取り付けられていることを確認してください。
- 2 通信プログラムが正しく構成されていることを確認してください。互換性のために、次の設定値が推奨されています。
  - モデム・タイプ：
    - Generic Hayes-type modem (汎用 Hayes タイプのモデム)
    - Hayes compatible error correcting (Hayes 互換エラー訂正)
    - Hayes compatible high speed (Hayes 互換高速)
    - User-defined modem (ユーザー定義モデム)
    - Hayes SmartModem 2400
    - Hayes modem (Hayes モデム)
    - Other (その他)

「Other」のモデム・タイプを選択した場合は、正しいモデム初期化文字列を含める必要があります。ほとんどのプログラムでは、初期化文字列は AT&F を使用できません。

  - ボー・レート：
    - 115,200 bps、または通信ソフトウェアによって提供される最大設定値。
  - COM ポート：
    - COM1



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## 問題

## 回復処置

2 台目のモデムを使用できない

コンピューターに複数のモデムが付属している場合、または 2 台目のモデムを追加する場合。

- 使用するモデムに電話回線が接続されていることを確認してください。
- 使用している通信ソフトウェアが、2 台目のモデムを使用するように正しく構成されていることを確認してください。
- 2 台目のモデムが正しく構成されていることを確認してください。2 台目のモデムは、最初のモデムとは異なる COM ポートとシステム IRQ を使用する必要があります。

モデムを使用しようとしたときに、コンピューターまたはモデムがダイヤル・トーンを検出できない


- 1 コンピューターに電話回線が正しく接続されていることを確認してください。コンピューターを電話網に接続する方法については、セットアップガイドを参照してください。
- 2 電話回線が正常に機能していることを確認してください。
- 3 使用している通信プログラムの初期化文字列にモデム・コマンド `x3` を付け加えてください。初期化文字列の変更については、通信プログラムに付属のマニュアルを参照してください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

---

## DVD の問題の解決方法

| 問題  | 回復処置  |
|---|---|
| DVD ビデオではなく黒い画面が表示される   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 DVD プレーヤー・プログラムを再始動してください</li><li>2 開いているファイルを閉じ、Windows を遮断し、コンピューターを再始動してください。</li></ol>                                |
| DVD 映画が再生されない   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 ディスクの表面がきれいで、傷がないことを確認してください。</li><li>2 ディスクの地域コードを調べてください。コンピューターを使用している地域のコードをもつディスクを購入することが必要な場合があります。</li></ol>       |
| DVD 映画の再生時に音が出ないか、音声がとぎれる   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 Windows またはスピーカーの音量の設定値を調べてください。</li><li>2 ディスクの表面がきれいで、傷がないことを確認してください。</li><li>3 スピーカーのすべてのケーブル接続をチェックしてください。</li></ol> |
| 再生の速度が非常に遅い、または変動する   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 バックグラウンド・プログラム (AntiVirus やデスクトップテーマなど) を使用不可にしてください。</li><li>2 ビデオの解像度が 1024x768x16 ビットより低く設定されていることを確認してください。</li></ol> |
|  | 以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。   |

## エラー・コードの処置

### エラー・コードと説明

### 回復処置

画面が黒い(エラー・コードなし)

始動テスト (POST) で  
ピープ音がする

ハードウェアに問題があります。ハードウェアを追加した場合は、それを取り外し、コンピューターを再始動して、問題が解消されるかどうかを見てください。問題が解消された場合は、ハードウェアの取り付け方が正しくなかった可能性があります。ハードウェアを取り付け直してください。

- メモリー・モジュールまたはアダプター・カードを取り付けた場合は、それらが正しく取り付けられていることを確認してください。
- メモリー・モジュールまたはアダプター・カードを取り付けなかった場合は、「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

Press <Esc> to turn off  
NMI or other key to  
reboot.

- 1 マスク不能割り込み (NMI) をオフにしてシステムのブートを進める場合は、**Esc** キーを押してください。
- 2 システムをリポートする場合は、その他のキーを押してください。  
セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。

111

入出力パリティ・エラー

セットアップ・ユーティリティーのデフォルト設定値をロードし、システムをリポートしてください。セットアップ・ユーティリティーの使用法については、73 ページの『セットアップ・ユーティリティーの使用』を参照してください。

127

CPU クロック不一致

プロセッサを変更した場合、このエラー・コードが出ることが予想されます。セットアップ・ユーティリティーの使用法については、73 ページの『セットアップ・ユーティリティーの使用』を参照してください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

---


|   |  |
|---|--|
| 151/163   | セットアップ・ユーティリティーに入り、日付と時刻を再設定してください。  |
| リアルタイム・クロック・エラー   |  |
| 日時と時刻が正しくない   |  |
| 161   | セットアップ・ユーティリティーのデフォルト設定値をロードし、日付と時刻を再設定してください。まだこのエラー・コードが出る場合は、バッテリーを交換してください。セットアップ・ユーティリティーの使用法については、73 ページの『セットアップ・ユーティリティーの使用』を参照してください。  |
| CMOS バッテリーが不良   |  |
| 162   | セットアップ・ユーティリティーのデフォルト設定値をロードし、システムをリブートしてください。また、日付と時刻もチェックしてください。セットアップ・ユーティリティーの使用法については、73 ページの『セットアップ・ユーティリティーの使用』を参照してください。   |
| CMOS チェックサム・エラー   |  |
| 162   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 このメッセージは、エラーのある装置を示した別の具体的なエラー・メッセージと一緒に表示されます。最初に、この表から装置エラー・メッセージを見つけて、対応する処置を取ってください。</li><li>2 セットアップ・ユーティリティーに入り、必要な設定値の変更を行ってください。<br/>セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。</li></ol> |
| 装置構成エラー   |  |
|  | 以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。  |

---



## エラー・コードと説明

## 回復処置

|   |  |  |
|---|--|--|
| 164   | メモリー・サイズが変更された   | <p>メモリーを取り外した場合は、このエラー・コードが出ることが予想されます。</p> <p>メモリーを取り外していない場合は、次の処置を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 DIMM が正しく取り付けられていることを確認し、システムをリポートしてください。</li> <li>2 ステップ1の処置を取ってもまだエラー・メッセージを受け取る場合は、DIMMに欠陥がある可能性があります。DIMMを交換してください。</li> </ol> <p>システム・ボード構成要素の作業方法については、Aptiva ヘルプを見てください。</p> |
| 201   | メモリー・エラー<br>MMMM:SSSS:OOOOh<br>(R:xxxxh, W:xxxh)                                 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 DIMM が正しく取り付けられていることを確認し、システムをリポートしてください。</li> <li>2 ステップ1の処置を取ってもまだエラー・メッセージを受け取る場合は、DIMMに欠陥がある可能性があります。DIMMを交換してください。</li> </ol> <p>システム・ボード構成要素の作業方法については、Aptiva ヘルプを見てください。</p>   |
| 301   | キーボード・エラー、またはキーボードが接続されていない  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 キーボードを正しく接続して、システムをリポートしてください。</li> <li>2 ステップ1の処置を取ってもまだエラーが表示される場合は、キーボードを交換してください。欠陥がある可能性があります。</li> </ol>  |
| 303   | キーボード・インターフェイス・エラー   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 キーボードを正しく接続して、システムをリポートしてください。</li> <li>2 ステップ1の処置を取ってもまだエラーが表示される場合は、キーボードを交換してください。欠陥がある可能性があります。</li> </ol>  |
|  | <p>以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。</p> |  |

648

フロッピー・ドライブ書き込み保護


- 1 ディスケットの保護タブが正しくセットされていることを確認してください。
- 2 セットアップ・ユーティリティーに入ってください。「**Advanced Options**」を選択し、次に「**Security Options**」を選択してください。セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。
- 3 「Floppy Drive」パラメーターが「**Normal**」に設定されていることを確認してください。セットアップ・ユーティリティーの使用法については、73 ページの『セットアップ・ユーティリティーの使用』を参照してください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## エラー・コードと説明

## 回復処置

|   |  |
|---|--|
| 662<br>フロッピー・ディスク・<br>コントローラー・エラー   | セットアップ・ユーティリティーのデフォルト設定値をロードしてください。セットアップ・ユーティリティーの使用法については、73 ページの『セットアップ・ユーティリティーの使用』を参照してください。  |
| 662<br>フロッピー・ドライブ A<br>エラー  | <ol style="list-style-type: none"><li>1 「Floppy Drive A」パラメーターの設定が正しいことを確認してください。セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。</li><li>2 ディスケット・ドライブの信号ケーブルが、ドライブとシステム・ボードに正しく接続されていることを確認してください。</li><li>3 ドライブの電源ケーブル・プラグが正しく差し込まれていることを確認してください。</li><li>4 ステップ 1～3 の処置を取ってもまだエラーが表示される場合は、ディスク・ドライブ A を交換してください。欠陥がある可能性があります。</li></ol> |
| 662<br>内蔵フロッピー・ドライブの競合  | <ol style="list-style-type: none"><li>1 システム内のすべてのアドオン・カードを取り外してください。</li><li>2 システムの電源を入れて、カードがないときは正常に作動するかどうかを調べてください。</li><li>3 再びカードを 1 つずつ取り付けていき、どのカードがエラーの原因になっているのかを調べてください。</li><li>4 欠陥のあるカードが分かったら、そのカードを交換してください。<br/>アドオン・カードの取り付けについては、Aptiva ヘルプを見てください。</li></ol>   |
| 962<br>内蔵パラレル・ポートの競合  | セットアップ・ユーティリティーに入り、次のことを行ってください。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 内蔵パラレル・ポート入出力アドレスと IRQ を変更するか、それを使用不可にします。</li><li>• アドオン・カードのパラレル・ポート入出力アドレスと IRQ を変更した後、システムをリブートします。</li></ul> セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。   |
|  | 以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。  |

1162

内蔵シリアル・ポートの競合

セットアップ・ユーティリティーに入り、次のことを行ってください。

- 内蔵シリアル・ポート入出力アドレスと IRQ を変更するか、それを使用不可にします。
  - アドオン・カードのシリアル・ポート入出力アドレスと IRQ を変更した後、システムをリブートします。
- セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。

1755

ハード・ディスク書き込み保護

セットアップ・ユーティリティーに入り、「Hard Disk Drive」パラメーターが「Normal」に設定されていることを確認してください。セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。

1762

内蔵 IDE チャンネル・アドレスの競合

- 1 システム内のすべてのアドオン・カードを取り外してください。
  - 2 システムの電源を入れて、カードがないときは正常に動作するかどうかを調べてください。
  - 3 再びカードを1つずつ取り付けていき、どのカードがエラーの原因になっているのかを調べてください。
  - 4 欠陥のあるカードを確認した後、セットアップ・ユーティリティーに入り、「Reset Resource Assignments」パラメーターを「Yes」に設定し、システムをリブートしてください。
  - 5 問題がまだ解消されない場合は、「Onboard IDE Primary/Secondary Channel」パラメーターを「Disabled」に設定し、システムをリブートしてください。
- アドオン・カードの取り付けについては、Aptiva ヘルプを見てください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## エラー・コードと説明

## 回復処置

1780

IDE の 1 次チャネル・マスター・ドライブ・エラー

- 1 IDE の信号ケーブルが、ドライブとシステム・ボードに正しく接続されていることを確認してください。
- 2 ドライブの電源ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 3 セットアップ・ユーティリティーに入り、「IDE Primary Channel Master」パラメーターが「Auto」に設定されていることを確認してください。セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。
- 4 上記のステップを実行してもまだエラーが表示される場合は、IDE ドライブを交換してください。欠陥がある可能性があります。セットアップ・ユーティリティーの使用法については、73 ページの『セットアップ・ユーティリティーの使用』を参照してください。

1781

IDE の 1 次チャネル・スレーブ・ドライブ・エラー

- 1 IDE の信号ケーブルが、ドライブとシステム・ボードに正しく接続されていることを確認してください。
- 2 ドライブの電源ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 3 セットアップ・ユーティリティーに入り、「IDE Primary Channel Slave」パラメーターが「Auto」に設定されていることを確認してください。セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。
- 4 上記のステップを実行してもまだエラーが表示される場合は、IDE ドライブを交換してください。欠陥がある可能性があります。セットアップ・ユーティリティーの使用法については、73 ページの『セットアップ・ユーティリティーの使用』を参照してください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## 1782

## IDE の 2 次チャネル・マスター・ドライブ・エラー

- 1 IDE の信号ケーブルが、ドライブとシステム・ボードに正しく接続されていることを確認してください。
- 2 ドライブの電源ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 3 セットアップ・ユーティリティーに入り、「IDE Secondary Channel Master」パラメーターが「**Auto**」に設定されていることを確認してください。セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。
- 4 上記のステップを実行してもまだエラーが表示される場合は、IDE ドライブを交換してください。欠陥がある可能性があります。セットアップ・ユーティリティーの使用法については、73 ページの『セットアップ・ユーティリティーの使用』を参照してください。

## 1783

## IDE の 2 次チャネル・スレーブ・ドライブ・エラー

- 1 IDE の信号ケーブルが、ドライブとシステム・ボードに正しく接続されていることを確認してください。
- 2 ドライブの電源ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 3 セットアップ・ユーティリティーに入り、「IDE Secondary Channel Slave」パラメーターが「**Auto**」に設定されていることを確認してください。セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。
- 4 上記のステップを実行してもまだエラーが表示される場合は、IDE ドライブを交換してください。欠陥がある可能性があります。セットアップ・ユーティリティーの使用法については、73 ページの『セットアップ・ユーティリティーの使用』を参照してください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

## エラー・コードと説明

## 回復処置

1800

IRQ 設定エラー

PnP ISA カードが使用不可

- 1 セットアップ・ユーティリティーに入り、「Reset Resource Assignments」を「Yes」に設定し、システムをリポートしてください。
- 2 再びエラー・メッセージが表示された場合は、必要性が最も低い内蔵デバイスを判別し、セットアップ・ユーティリティーの「Input/Output Ports」メニューのもとで、それを使用不可にしてください。  
セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。

1801

拡張 ROM 割り振り障害

- 1 セットアップ・ユーティリティーに入り、「Reset Resource Assignments」を「Yes」に設定し、システムをリポートしてください。
- 2 入出力拡張 ROM アドレスを変更してください。  
セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。

1802

入出力リソースの競合

- 1 セットアップ・ユーティリティーに入り、「Reset Resource Assignments」を「Yes」に設定し、システムをリポートしてください。セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。
- 2 再びエラー・メッセージが表示された場合は、必要性が最も低い内蔵デバイスを判別し、セットアップ・ユーティリティーの「Input/Output Ports」メニューのもとで、それを使用不可にしてください。  
セットアップ・ユーティリティーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。

1803

メモリー・リソースの競合

- 1 セットアップ・ユーティリティーに入り、「Reset Resource Assignments」を「Yes」に設定し、システムをリブートしてください。セットアップ・ユーティリーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。
- 2 再びエラー・メッセージが表示された場合は、必要性が最も低い内蔵デバイスを判別し、セットアップ・ユーティリーの「Input/Output Ports」メニューのもとで、それを使用不可にしてください。  
セットアップ・ユーティリーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。

1962

システム・ディスケットを挿入し、&lt;Enter&gt;を押してリブート

- 1 システム・ディスケットをドライブ A に挿入し、Enter を押して、システムをリブートしてください。
- 2 ドライブ A からブートするとシステムが作動する場合は、ハード・ディスクに問題がある可能性があります。
- 3 ハード・ディスクが正しく取り付けられていることを確認してください。すべてのケーブル接続をチェックしてください。  
セットアップ・ユーティリーのオプションについては、Aptiva ヘルプを見てください。

8601/8603

PS/2 ポインティング装置インターフェース・エラー

- 1 マウスが PS/2 マウス・ポートに接続されていることを確認し、システムをリブートしてください。
- 2 ステップ 1 の処置を取ってもまだエラーが表示される場合は、PS/2 マウスを交換してください。欠陥がある可能性があります。



以上の処置を行っても、問題が解消されない場合には、別紙「IBM サービスのご案内」を参照して、IBM PC ヘルプセンターにお問い合わせください。



## 工場で導入済みのプログラムとファイルの回復

Aptiva は、プログラムとファイルをハード・ディスクに導入してお届けしています。これらのプログラムとファイルは、*Product Recovery* CD-ROM にも入っています。場合によっては、ハード・ディスク上のプログラムやファイルが破壊されることがあります。このような事態が起きた場合は、それらをハード・ディスクに再導入することが必要になります。

プログラムを導入して、ユーザー独自のファイルを作成することも可能です。プログラムを導入するときに、導入処理により、オペレーティング・システムが使用するある種の構成ファイルが変更される可能性があります。このような構成ファイルやユーザーが作成したファイルは、定期的にバックアップ・コピーを取っておくことが必要です。ファイルのバックアップ方法については、Aptiva ヘルプを見てください。

オペレーティング・システム構成ファイルのバックアップ・コピーを作成する際には、元のディレクトリー構造をコピーしておくことが必要です。ファイルを再導入するときに、それらを元のディレクトリー構造に入れなければなりません。そうしないと、コンピューターが正常に作動しないことがあります。

工場で導入済みのシステム・ファイルとプログラム・ファイルを回復するには、以下の手順で行います。

**注:** コンピューターの中のすべての個人データが失われます。

- 1 コンピューターの電源が入っていることを確認します。
- 2 ユーザーが作成した構成ファイルとその他のファイルのバックアップ・コピーを作成します。
- 3 *Product Recovery* CD-ROM を CD または DVD ドライブに挿入します。
- 4 他のドライブに、ディスク、CD、または DVD が入っていないことを確認します。



## 注

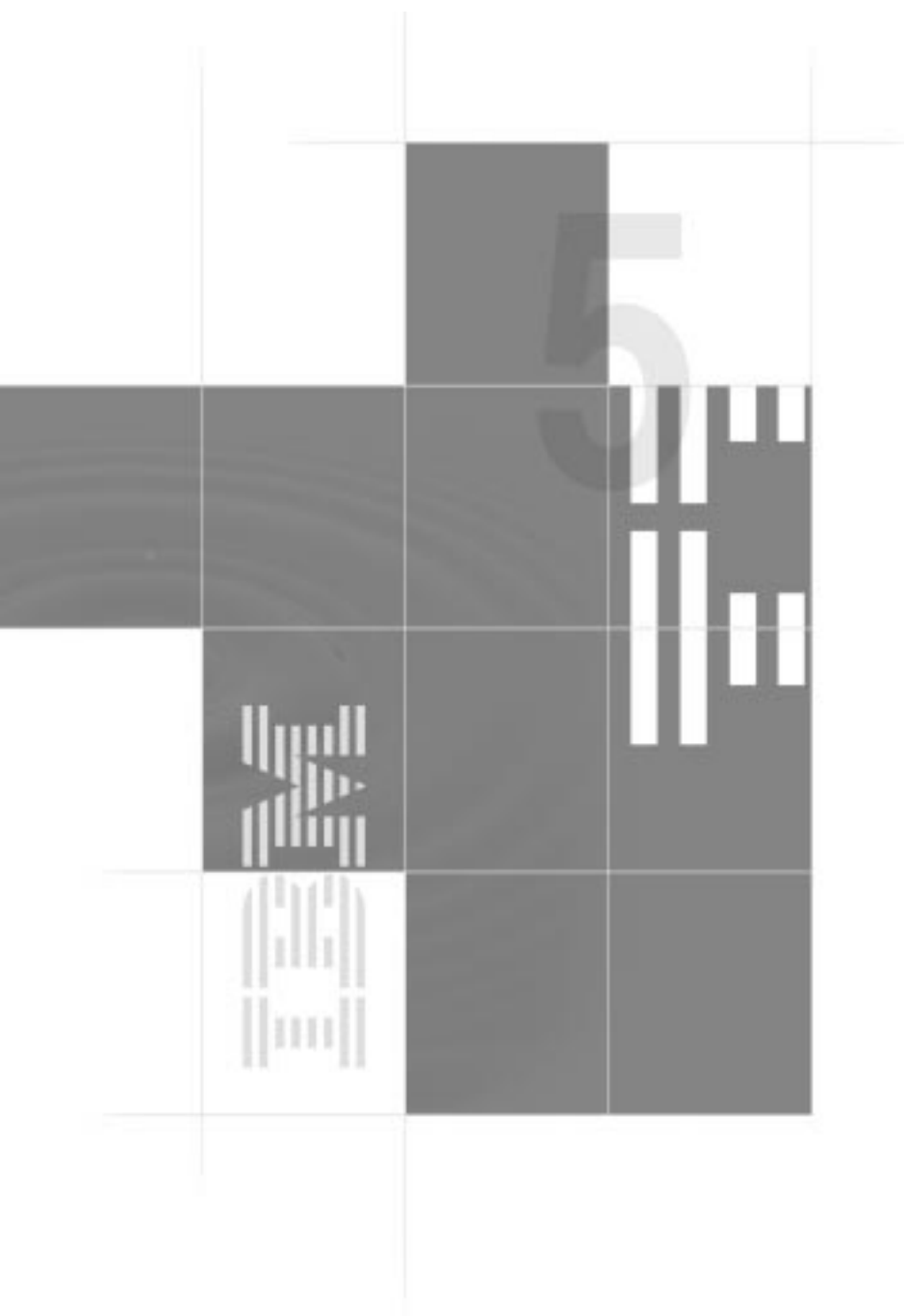
一部のモデルは ConfigSafe プログラムを導入済みで出荷されます。このプログラムは、「Aptiva へようこそ」アイコンをクリックすると、バックグラウンドで実行されます。

ConfigSafe は、自動的に構成ファイルのスナップショットを取ります。全回復を行う前に、ConfigSafe をオープンし、システム・ファイルを以前のスナップショットに復元することによって問題を修正できるかどうかを調べることができます。

- 5 コンピューターを遮断し、電源を切ります。
- 6 15 秒間待ちます。
- 7 ディスプレイとコンピューターの電源を入れます。
- 8 「Aptiva Product Recovery」メッセージが表示されたら、画面の指示に従います。
- 9 回復が終了したら、コンピューターを再始動する前に、ディスクを取り出します。
- 10 Aptiva ソフトウェアを再導入した後で、ユーザーの個人的な構成ファイルやデータ・ファイルを、ハード・ディスク上の元のディレクトリーにコピーします。

*Product Recovery* CD-ROM を使用することが必要になった場合、セットアップ・ユーティリティーでハード・ディスクより前に CD または DVD ドライブを使用するようにセットアップされていることを確認してください。工場出荷時には、CD または DVD ドライブが最初の始動装置として設定されています。セットアップ・ユーティリティーでの始動装置の選択については、セットアップ・ユーティリティーのヘルプを見てください。

# セットアップ・ユーティリティー





# セットアップ・ユーティリティー

IBM Aptiva パーソナル・コンピューターは、すぐにご使用いただける状態でお届けしています。セットアップ・ユーティリティーおよび Windows のデバイス・マネージャーを使用すれば、コンピューターの構成の設定値を表示することができます。

また、セットアップ・ユーティリティーを使用して、一部の構成設定値を変更することもできます。コンピューター内部のハードウェアを追加または交換する場合には、特定の設定値を確認したり、更新したりすることが必要になります。

この章では、セットアップ・ユーティリティーの使用法について説明します。セットアップ・ユーティリティーのオプションについて詳しい情報が必要な場合は、セットアップ・ユーティリティーのヘルプをご覧ください。

---

## セットアップ・ユーティリティーの使用

セットアップ・ユーティリティーでは、コンピューターに取り付けられているハードウェアの構成設定値を表示したり、変更したりすることができます。コンピューターのハードウェアをアップグレードするとき、あるいはコンピューターの使用中にエラー・メッセージを受け取ったときなどに、セットアップ・ユーティリティーを使用することが必要になります。

### 自動的な変更

ほとんどの場合、コンピューターの基本入出力システム (BIOS) が自動的に変更します。新しいハードウェアを取り付けると、BIOS は始動テスト (POST) 時にそれを検出し、自動的にセットアップ・ユーティリティーを更新します。

## 手動による変更

場合によっては、コンピューターが自動的に変更しないことがあります。たとえば、プラグ・アンド・プレイ要件を満たしていないハードウェアを取り付ける場合は、ユーザーがセットアップ・ユーティリティを開始し、手動で変更を行うことが必要になります。

セットアップ・ユーティリティには、ハードウェアや装置構成に関する次のような情報が入っています。

- プロセッサの速度
- システム・メモリー、キャッシュ・メモリー、およびビデオ・メモリー
- ディスク・ドライブ
- シリアル・ポートとパラレル・ポート
- 省電力機能
- プラグ・アンド・プレイおよびPCI リソース割り当て
- 始動オプション
- モデル情報
- 日付と時刻
- 機密保護オプション

システム情報やモデル情報などのセットアップ・ユーティリティの一部のオプションは、システムに関する情報が入っているので変更することはできません。その他のオプションは、使用するコンピューターの動作に合わせて設定できます。たとえば、セットアップ・ユーティリティを使用して、次のことを行えます。

- 始動パスワードを作成または変更する。
- 省電力機能を使用してエネルギー消費を削減する。
- システム・メモリー・テストを使用可能または使用不可にする。

# セットアップ・ユーティリティー

## セットアップ・ユーティリティーの開始

コンピューターは、エラー・メッセージを出すときに、エラー・コードと問題の説明を示したメッセージ・ウィンドウを表示することがあります。このときに **F1** キーを押すと、セットアップ・ユーティリティーが開始します。これ以外の方法でセットアップ・ユーティリティーにアクセスする場合は、コンピューターを始動または再始動することが必要になります。

コンピューターの電源が入っている場合、セットアップ・ユーティリティーを開始するには、次の手順で行います。

- 1 開いているすべてのファイルを保存し、すべてのソフトウェア・プログラムを終了します。
- 2 Windows デスクトップの「スタート」ボタンをクリックします。
- 3 「Windows の終了」オプションをクリックします。
- 4 「Windows の終了」ウィンドウから、「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。
- 5 次のような画面が表示されたら **F1** キーを押します。



コンピューターの電源が入っていない場合、セットアップ・ユーティリティーを開始するには、次の手順で行います。

- 1 ディスプレイの電源を入れます。
- 2 システムの電源を入れます。
- 3 次のような画面が表示されたら **F1** キーを押します





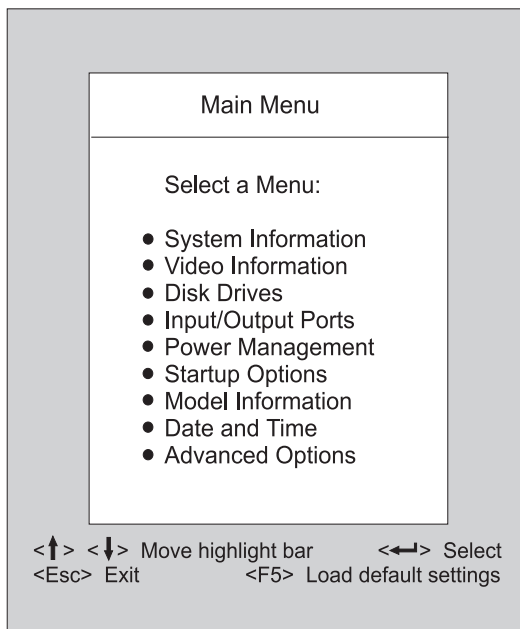
# セットアップ・ユーティリティー

セットアップ・ユーティリティーの「Main Menu」は、次のような画面です。



## 注

ご使用のコンピューターに表示される「Main Menu」は、ここに示されているメニューとは多少異なる場合がありますが、機能は同じです。



## セットアップ・ユーティリティーのメニューでの操作

セットアップ・ユーティリティーの「Main Menu」には、システム構成オプションのリストが表示されます。オプションの1つを選択すると、そのオプションのメニューが表示されます。

メニュー間を移動するには、次のキーを使用します。

| キー           | 機能  |
|--------------|---|
| ↓ ↑          | これらの矢印キーは、メニューのオプションを強調表示するのに使用します。(オプションを選択するときは <b>Enter</b> キーを押します。)    |
| ← →          | これらの矢印キーは、あるオプションの設定値を選択して変更するのに使用します。一部のメニューでは、これらのキーでフィールド間の移動を行うことができます。 |
| <b>Enter</b> | メニューで強調表示したオプションを選択するときに、このキーを押します。   |
| <b>Esc</b>   | メニューで設定値を表示したり、変更を行った後、このキーを押してメニューを終了します。                                  |
| <b>F1</b>    | メニューで選択した項目についてヘルプが必要な場合に、このキーを押します。  |
| <b>F5</b>    | 「Main Menu」から工場のデフォルト設定値をロードしたい場合に、このキーを押します。                               |



## 注

リストされているすべてのキーをどのメニューでも使用できるわけではありません。使用可能なキーはそのメニューの下部に表示されます。

## システム情報とモデル情報の表示

ご使用のコンピューターに関する一般的なハードウェア情報を表示するには、セットアップ・ユーティリティーの「Main Menu」から「**System Information**」オプションを選択します。「System Information」メニューに表示される項目は、構成することはできません。

次のいずれかを行うと、セットアップ・ユーティリティーが自動的にこのメニューを更新します。

# セットアップ・ユーティリティー

- コンピューターのハードウェアを追加または変更する。
- セットアップ・ユーティリティーの別のメニューで変更を行い、その変更内容を保存する。

モデル番号、製造番号、BIOS のバージョンと日付といったコンピューターのその他の情報を表示するには、セットアップ・ユーティリティーの「Main Menu」から「**Model Information**」オプションを選択します。「System Information」メニューと同様に、表示された項目は構成することはできません。

## パラメーターの設定値の変更

セットアップ・ユーティリティーのメニューでは、ユーザーが変更できる構成情報はすべて大括弧 [ ] で囲われています。大括弧で囲われていない情報は、変更することができません。上矢印または下矢印キーを使用してオプションを強調表示し、**Enter** を押すと、メニューが表示されます。特定のパラメーターの設定値を変更する場合は、左矢印または右矢印キーを使用して設定値を強調表示し、その設定値を変更します。各メニューの構成可能なパラメーターについての詳細は、セットアップ・ユーティリティーのヘルプをご覧ください。

## デフォルト設定値のロード

Aptiva コンピューターは、お買い上げ後にすぐに使用できるように装置構成が済んでいます。元の構成設定値（工場設定値またはデフォルト設定値とも呼ばれます）は CMOS に保管されています。セットアップ・ユーティリティーには、いつでも元の構成値を再ロードできるように、オプション「**Load default settings**」が用意されています。

デフォルト設定値を再ロードするには、次の手順で行います。

- 1 「Main Menu」で **F5** キーを押します。デフォルト設定値をロードするのかどうかを確認するためのダイアログ・ボックスが表示されます。
- 2 左矢印キーを使用して「**Yes**」を選択し、**Enter** キーを押します。

3 **Esc** を押して、セットアップ・ユーティリティーを終了します。

“Do you want to save settings?” と表示されたダイアログ・ボックスが現れます。

4 左矢印キーを使用して「**Yes**」を選択し、**Enter** キーを押して、変更内容を CMOS に保管します。セットアップ・ユーティリティーのデフォルト設定値をロードする必要があるのは、次のような場合です。

- システム・バッテリーを交換した場合。
- コンピューターが応答しなくなる原因になる、システム構成設定値と一部のリソース割り当てとの競合をカスタマイズした場合。

## セットアップ・ユーティリティーの終了

設定値の表示や変更が終了したら、**Esc** キーを押して「Main Menu」に戻ってください。ここから、変更内容を保存してセットアップ・ユーティリティーを終了するか、あるいは変更内容を保存せずに終了することができます。

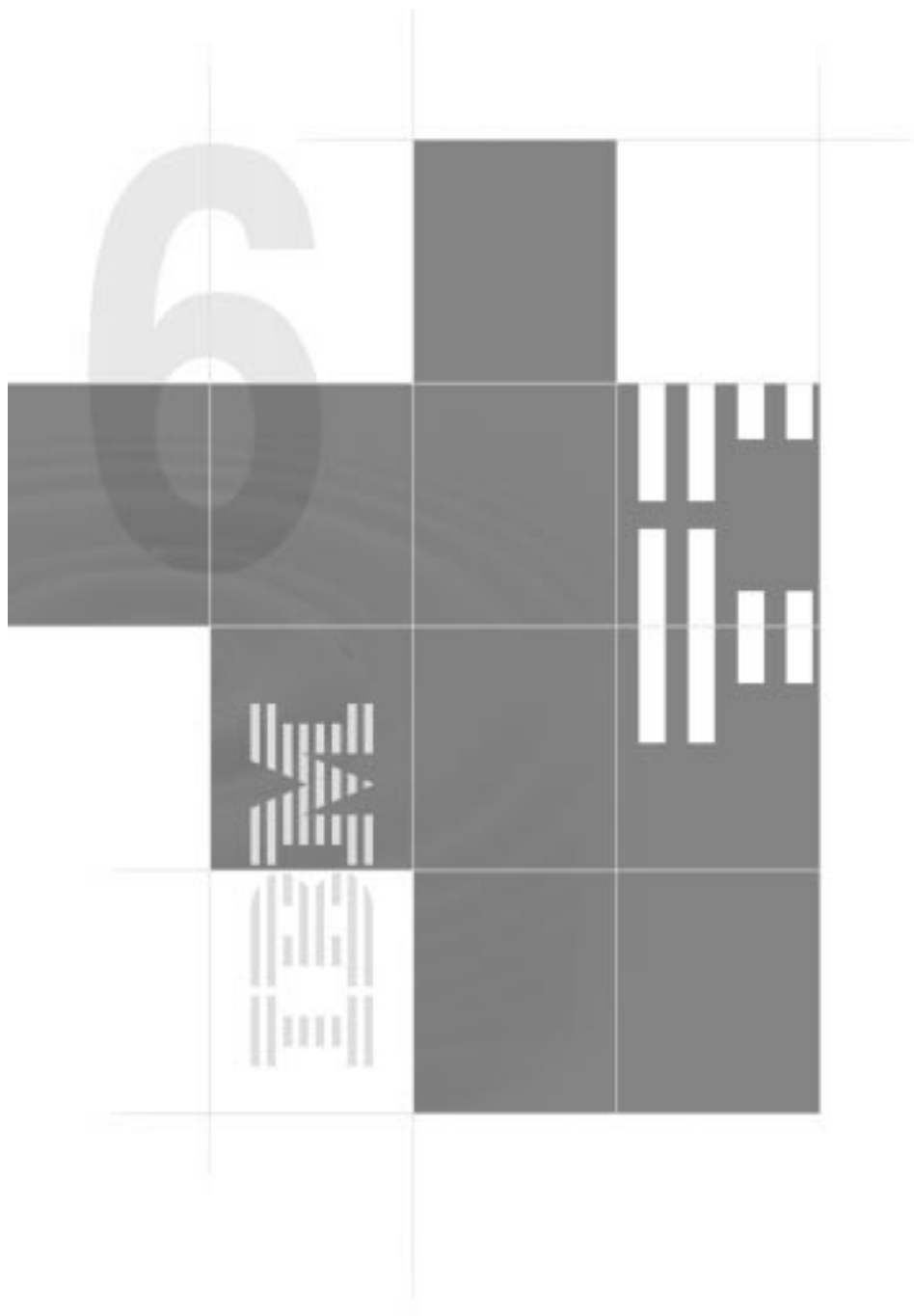
セットアップ・ユーティリティーを終了するには、次の手順で行います。

1 「Main Menu」から、セットアップ・ユーティリティーを終了するために **Esc** キーを押します。

2 次のいずれかを行います。

- 変更内容を保存したい場合は、オプション「**Yes**」を選択して **Enter** キーを押すと、変更を保存してからセットアップ・ユーティリティーを終了します。
- 変更内容を保存したくない場合は、「**No**」を選択して **Enter** キーを押すと、変更を保存せずにセットアップ・ユーティリティーを終了します。

# ハードウェアの取り付けと取り外し





# ハードウェアの取り付けと取り外し

この章には、以下に関する基本的な情報が収められています。

- ドライブの取り付けと取り外し
- システム・ボード構成要素の識別

以下の説明には、コンピューターに取り付けたり、取り外したりすることができる各オプションについての詳しい情報は含まれていません。

ご使用のコンピューターは、さまざまな手順や指示をハード・ディスクに入れてお届けしています。この情報は、「Aptiva ヘルプ」の「これは何？」で見つけることができます。

ご使用のコンピューター内のハードウェアをアップグレードまたは交換することに決めた場合、そのハードウェアに関する指示を印刷することが必要になります。Aptiva ヘルプにアクセスする方法は、21 ページを参照してください。

## コンピューターでの作業の準備



### 危険！

電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。感電事故を防止するために、本製品の設置、移動、カバーの取り外しを行うときは、ここに説明されている手順に従ってケーブルを切り離してください。

感電事故を防止するために、雷の発生時には、ケーブルの接続や切り離し、あるいは本製品の設置、保守、または再構成は行わないでください。

コンピューター内のハードウェアを変更する作業を始める前に、コンピューターの電源を切り、電源プラグを抜き取っておく必要があります。

### 切断は、次のように行います。

- 1 コンピューターとそれに接続された構成要素（専用の電源スイッチが付いている場合）の電源を切ります。
- 2 すべての電源ケーブルのプラグを電源コンセントから抜き取ります。
- 3 すべての信号ケーブル（電話コードなど）をコンセントから抜き取ります。
- 4 コンピューターに接続されているすべてのケーブルを取り外します。これには、電源コード、入出力ケーブル、およびコンピューターに接続されているその他のすべてのケーブルが含まれます。

## システム装置のカバーの取り外し

システムは、ミニタワーまたはマイクロタワー・ハウジングのいずれかに収納されています。ご使用のシステムに該当するセクションを参照してください。

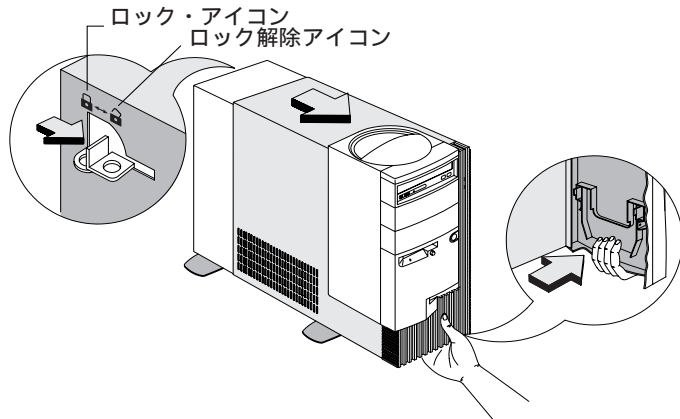


### 注

ロックの解除がうまくいかない場合は、カバーを後方に完全に押し込んだことを確認してください。

### ミニタワー・システム装置のカバーの取り外し

- 1 マシンの背面でカバーを固定しているロックを、ロック解除アイコンの方向に押し、ロックを解除します。
- 2 前面パネルの下に手を滑りこませ、ハンドルに手を掛けて引き、カバーを完全に解放します。
- 3 カバーを手前にスライドさせて、完全に取り外します。カバーは、システム装置の両側の溝の中をスライドします。

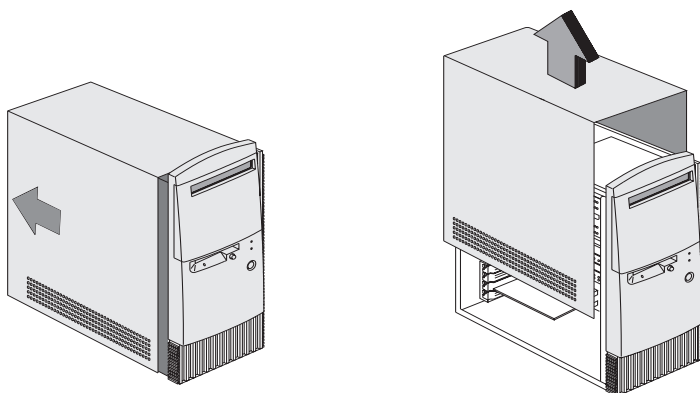




# ハードウェアの取り付けと取り外し

## マイクロタワー・システムのカバーの取り外し

- 1 システム装置の背面のねじを取り外します。
- 2 カバーを後方に引き、上に持ち上げて、システム装置から完全に取り外します。



## ドライブの取り付けと取り外し



### 注

ドライブの電源ケーブルと信号ケーブルの元の位置を書き留めておいてください。ドライブを再取り付けするときに、この情報が必要になります。

## ミニタワー・システムのドライブの取り付けと取り外し

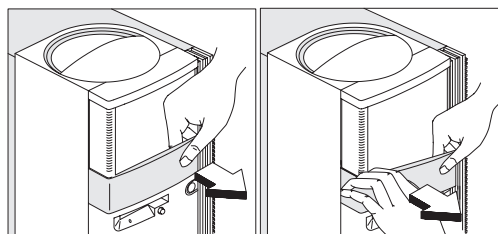
### 上部ドライブ・ベイへのドライブの取り付け：

- 1 ベイ・パネルの右側内部のラッチを押し、それを 3 cm ほど外側に引き出して、パネルの右側を解放します。
- 2 両手を使ってベイ・パネルを引き出し、前面パネルから完全に取り外します。



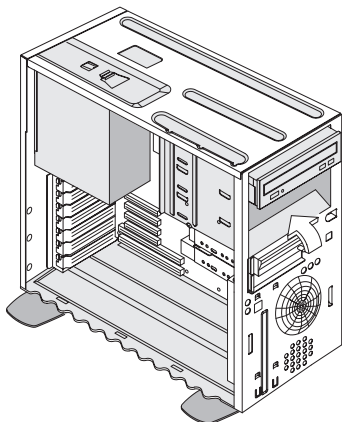
### 重要

上記のステップを実行する際には、ベイ・パネル上のラッチやタブを破損しないように注意してください。パネルは無理に取り外してはなりません。



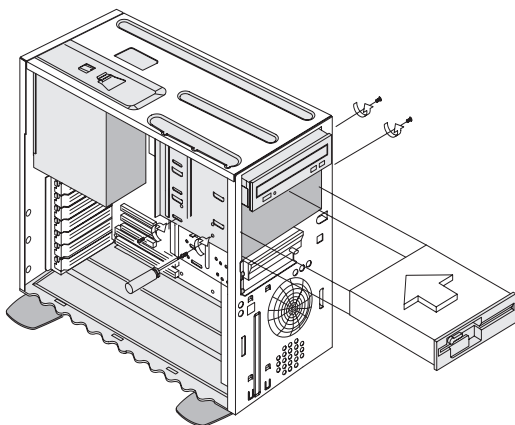
ドライブの取り付けと取り外し

3 金属製のベイ・カバーを90度の角度に押し戻します。



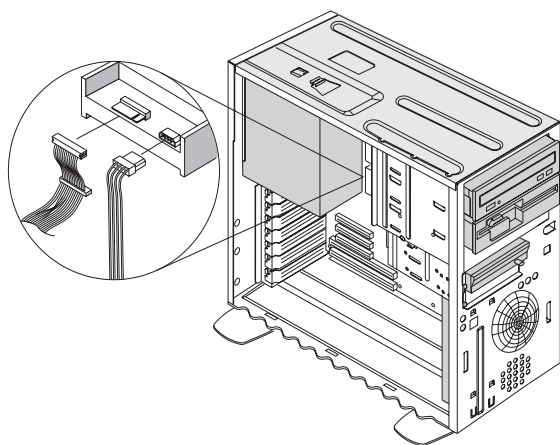
4 ドライブをベイに挿入します。

5 ねじ穴に合わせて4本のねじでドライブを固定します。



6 電源ケーブルおよび信号ケーブルを接続します。

# ハードウェアの取り付けと取り外し



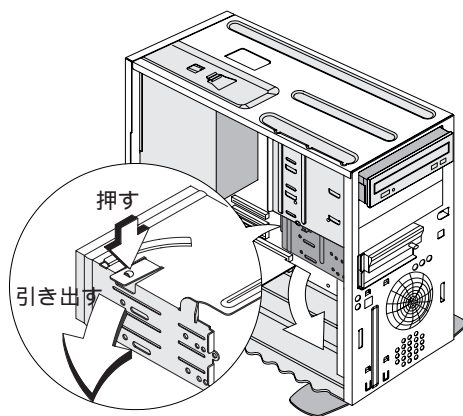
下部ドライブ・ベイへのドライブの取り付け：

- 1 既存のドライブからケーブルを取り外します。
- 2 上部のタブを押し、ドライブ・ベイを外側に回転させて、3.5インチ・ドライブ・ベイをハウジングから取り外します。

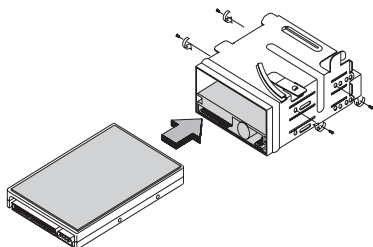


注

下部ドライブ・ベイにドライブを取り付ける場合、ハード・ディスクが常に3.5インチ・ディスクケット・ドライブの下になるようにしてください。

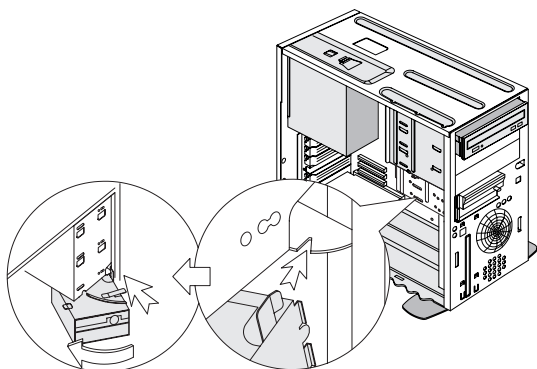


- 3 ドライブ・ベイの背面から、3.5インチ・ディスク・ドライブを注意深く挿入し、両側を4本のねじで固定します。



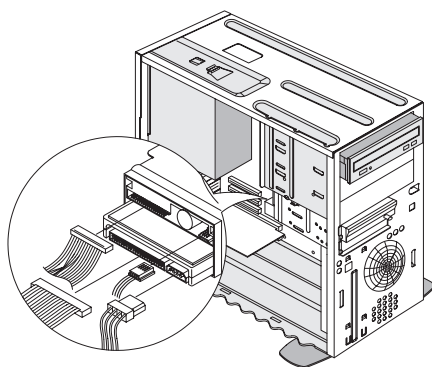
- 4 下の図のように、ドライブ・ベイをハウジングに再取り付けします。

- a ドライブ・ベイを切り欠きに合わせます。
- b タブが所定の位置にカチッとハマるまで、ドライブ・ベイをハウジングの方に回転させます。



- 5 信号ケーブルと電源ケーブルをドライブに接続します。

# ハードウェアの取り付けと取り外し



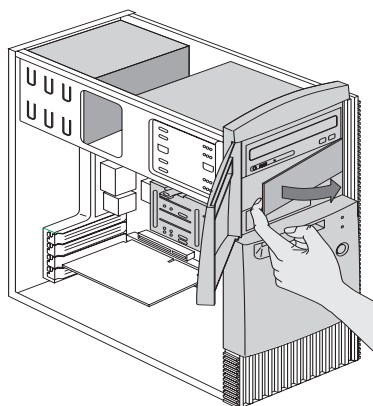
## ドライブの取り外し：

特定のベイからドライブを取り外すには、そのベイにドライブを取り付けたときの逆の手順で行います。

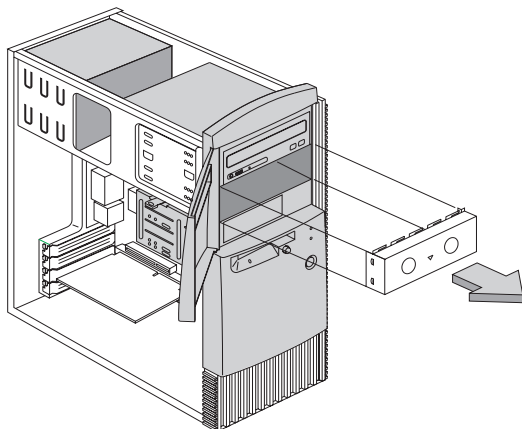
## マイクロタワー・システムのドライブの取り付けと取り外し

上部ドライブ・ベイへのドライブの取り付け：

- 1 ベイ・パネルを取り外します。

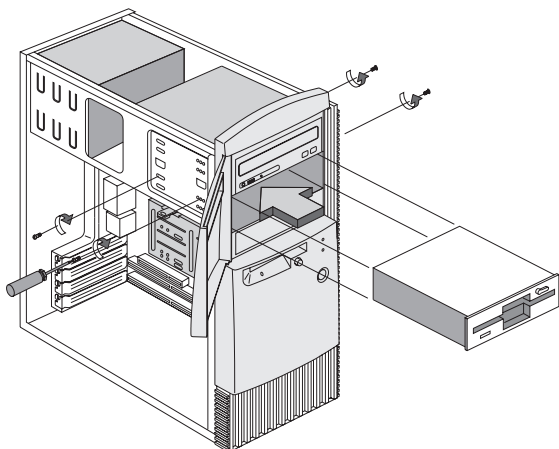


2 金属製のベイ・カバーを取り外します。



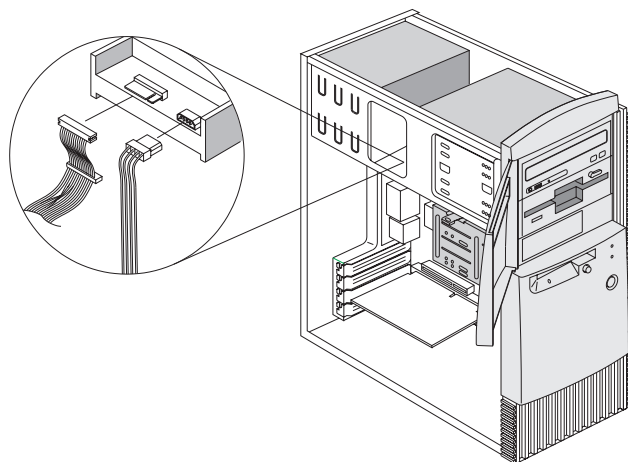
3 空のドライブ・ベイにドライブを挿入します。

4 ねじ穴に合わせて4本のねじでドライブを固定します。



5 電源ケーブルおよび信号ケーブルを接続します。

# ハードウェアの取り付けと取り外し



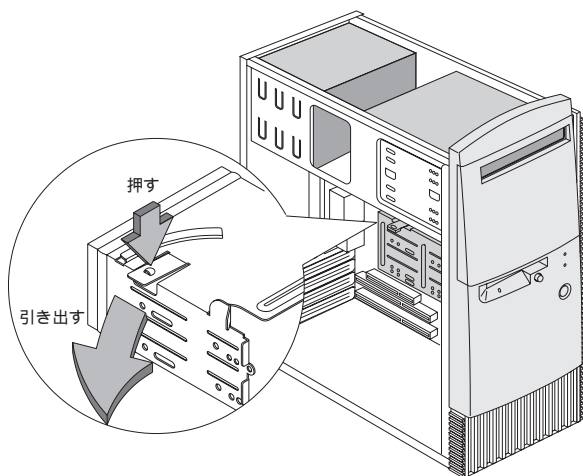
下部ドライブ・ベイへのドライブの取り付け：

- 1 上部のタブを押し、ドライブ・ベイを外側に回転させて、3.5インチ・ドライブ・ベイをハウジングから取り外します。

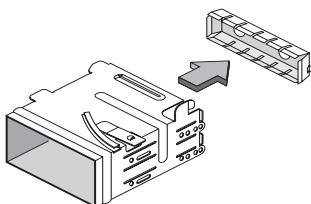


注

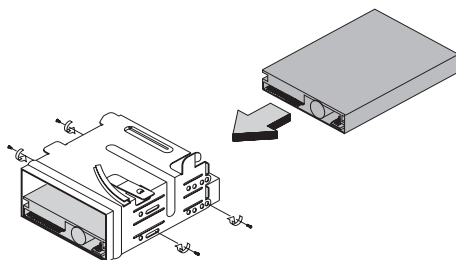
下部ドライブ・ベイにドライブを取り付ける場合、ハード・ディスクが常に3.5インチ・ディスクケット・ドライブの上になるようにしてください。



2 金属製のベイ・カバーを取り外します。



3 ドライブ・ベイの背面から、3.5インチ・ディスク・ドライブを注意深く挿入し、両側を4本のねじで固定します。

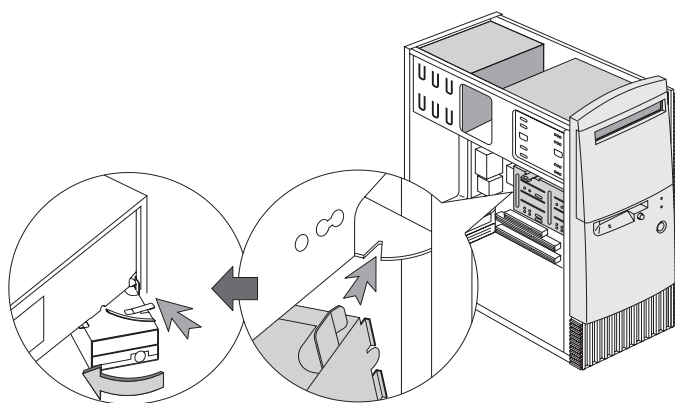


4 下の図のように、ドライブ・ベイをハウジングに再取り付けします。

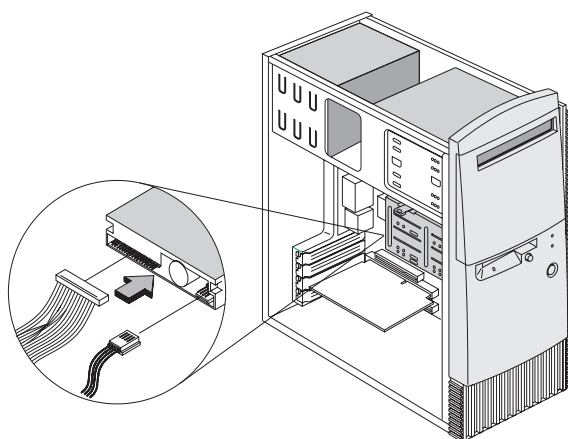
- a ドライブ・ベイを切り欠きに合わせます。
- b タブが所定の位置にカチッとハマるまで、ドライブ・ベイをハウジングの方に回転させます。



# ハードウェアの取り付けと取り外し



5 信号ケーブルと電源ケーブルをドライブに接続します。



## ドライブの取り外し：

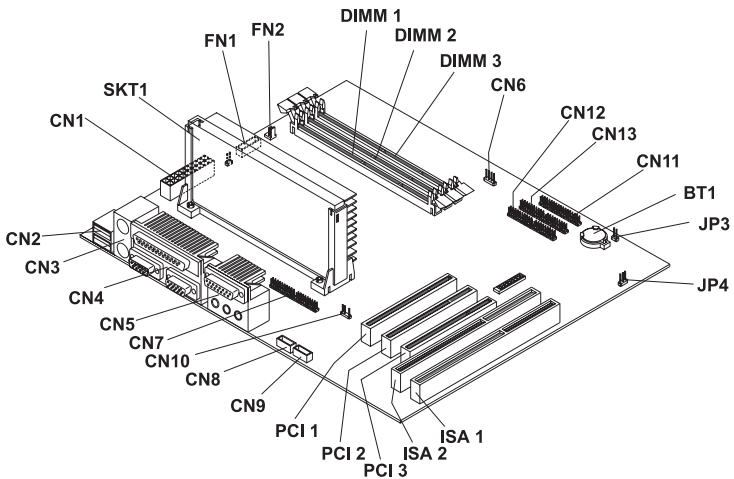
特定のベイからドライブを取り外すには、そのベイにドライブを取り付けたときの逆の手順で行います。

## システム・ボード構成要素の識別

システム・ボード上のハードウェア構成要素をアップグレードまたは交換することに決めた場合、そのハードウェアに関する指示を印刷することが必要になります。これらの指示は、ハード・ディスク上の *Aptiva Helps* で見つけることができます。

### ミニタワー・システム・ボード

ミニタワー・システムには、下図のようなシステム・ボードが付いています。図の中の番号付けされたすべての部品の機能を、次のページに示します。

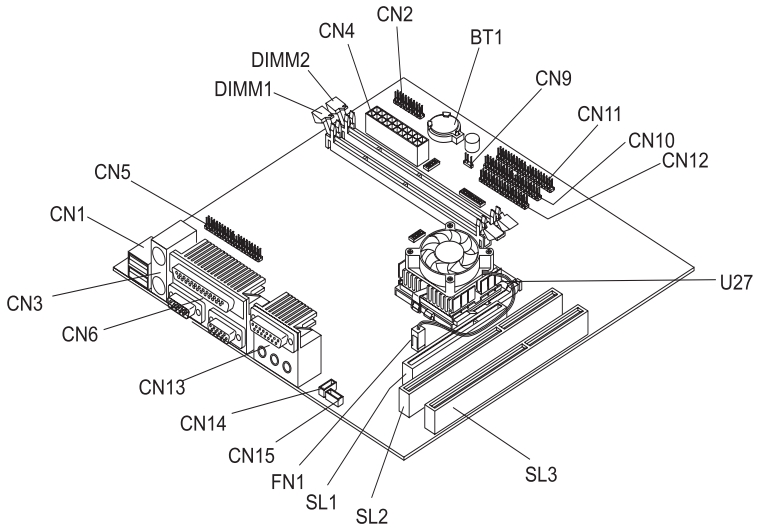


# ハードウェアの取り付けと取り外し

| 番号   | 説明                               | 番号                     | 説明                   |
|------|----------------------------------|------------------------|----------------------|
| BT1  | システム・バッテリー                       | CN11                   | ディスケット・ドライブ・コネクタ     |
| CN1  | ATX 電源コネクタ                       | CN12                   | 1 次 IDE コネクタ         |
| CN2  | USB コネクタ                         | CN13                   | 2 次 IDE コネクタ         |
| CN3  | PS/2 マウスおよびキーボード・コネクタ            | DIMM 1, DIMM 2, DIMM 3 | システム・メモリー・モジュール・ソケット |
| CN4  | パラレル、シリアル、および VGA コネクタ           | FN1                    | 5 ピン電源ファン・コネクタ       |
| CN5  | MIDI、ラインイン、ラインアウト、およびマイクロホン・コネクタ | FN2                    | 2 ピン電源ファン・コネクタ       |
| CN6  | IDE LED コネクタ                     | ISA 1, ISA 2           | ISA アダプター・カード・コネクタ   |
| CN7  | ATI マルチメディア・チャンネル (AMC) 機能コネクタ   | JP3                    | 電源ボタン・コネクタ           |
| CN8  | ファックス、音声、モデム・コネクタ                | JP4                    | 電源 LED コネクタ          |
| CN9  | CD-ROM オーディオ・コネクタ                | PCI 1, PCI 2, PCI 3    | PCI アダプター・カード・コネクタ   |
| CN10 | モデム・リングイン・コネクタ                   | SKT1                   | プロセッサ                |

## マイクロタワー・システム・ボード

マイクロタワー・システムには、下図のようなシステム・ボードが付いています。図の中の番号付けされたすべての部品の機能を、次のページに示します。



# ハードウェアの取り付けと取り外し

| 番号   | 説明  | 番号             | 説明  |
|------|---|----------------|---|
| BT1  | システム・バッテリー  | CN12           | ディスケット・ドライブ・コネクタ                            |
| CN1  | USB コネクタ  | CN13           | ジョイスティック / MIDI、ラインイン、ラインアウト、およびマイクロホン・コネクタ |
| CN2  | 電源スイッチ（ピン 10,20）および前面パネル LED（ピン 4, 5,6,7:HDDLED、ピン 1,2,3: 電源 LED）コネクタ | CN14           | ファックス、音声、モデム・コネクタ                           |
| CN3  | PS/2 マウスおよびキーボード・コネクタ   | CN15           | CD-ROM オーディオ・コネクタ                           |
| CN4  | ATX 電源コネクタ  | DIMM 1, DIMM 2 | システム・メモリー・モジュール・ソケット                        |
| CN5  | ATI マルチメディア・チャンネル（AMC）機能コネクタ  | FN1            | 2 ピン電源ファン・コネクタ                              |
| CN6  | パラレル、シリアル、および VGA コネクタ  | SL1            | PCI アダプター・カード・コネクタ                          |
| CN9  | モデム・リングイン・コネクタ  | SL2, SL3       | ISA アダプター・カード・コネクタ                          |
| CN10 | 2 次 IDE コネクタ  | U27            | プロセッサ                                       |
| CN11 | 1 次 IDE コネクタ  |                |   |



# 索引

## 数字

2000年。Aptiva ヘルプを参照。

## A

Aptiva ヘルプとソフトウェア 19-26

## B

BIOS

セットアップ・ユーティリティの更新 73

## C

CDとDVDの取り扱い 23

CD-ROM

ディスクの取り扱い 23

CD-ROM ドライブ

安全に正しくお使いいただくために 8

位置の見つけ方。

Aptiva ヘルプを参照。

オーディオ・ディスクの問題 42, 55

## D

DVD 23

問題の解決方法 58

## あ

安全に正しくお使いいただくために 6-9

CD-ROMとDVD-ROMドライブ 8, 9

DVD-ROMドライブ 8

感電事故の防止 6

コンピューターの接続 7

コンピューターの接地 6

電話接続 6

部品の交換 6

リチウム電池 6

レーザー製品 8

## え

エラー・コード 59-68

## お

オーディオ

問題の解決方法 42, 55

オンライン情報

オンライン・ヘルプ

readme ファイル 22

オンライン情報とソフトウェア

CDとDVDの取り扱い 23

ハードウェアの導入と交換 23

プログラムのインストール 24, 25

## か

快適にコンピューターを使用するために 15-17

椅子 15

キーボードの位置 17

ディスプレイの位置 16

マウスの位置 17

## き

キーボード

位置 17

問題の解決 43

規制に関する情報 10

## こ

コンピューターのセットアップ 15-17

椅子 15

キーボードの位置 17

ディスプレイの位置 16

マウスの位置 17

工場で導入済みのプログラムの回復 69  
 交換部品の安全上の注意 6

## し

システム・ボード  
   構成要素の識別 94-97  
 システム情報。Aptiva ヘルプを参照。  
 商標 3  
 情報  
   readme ファイル 23  
   ハードウェアの導入と交換 23

## せ

セットアップ・ユーティリティ 71-80  
   Main Menu 77  
   開始 75  
   システム情報の表示 78  
   終了 80  
   使用 73  
   設定値の変更 79  
   操作 77  
   デフォルト設定値のロード 79

## そ

ソフトウェア

プログラムのインストール 24  
 問題の解決方法 48

## て

ディスプレイ  
   位置 16  
   問題の解決方法 52  
 電源ボタン・スイッチ 31  
   電源ボタン。Aptiva ヘルプを参照。  
 電池 6  
   取り扱い 6  
   廃棄 6

## と

特記事項 3

## は

ハードウェア  
   構成 73  
   仕様。Aptiva ヘルプを参照。  
   テスト。Aptiva ヘルプを参照。  
   取り付けと取り外し 83-97

ハードウェアの問題の解決方法 36

## ふ

プログラムのインストール 24, 25

## へ

ヘルプ  
   Aptiva ヘルプ 21-22  
   これは何? 22  
   こんな時どうする? 21  
   readme ファイル 23  
   問題判別手順 71

## ま

マルチメディア  
   問題の解決方法 55-57

## も

モデム  
   問題の解決方法 55  
   見つける場所。Aptiva ヘルプを参照。  
 問題判別  
   DVD の問題 58  
   エラー・コード 59-68



- 111 入出力パ  
 ティー・エ  
 ラー 59
- 1162 内蔵シリア  
 ル・ポート  
 の競合 64
- 127 CPU クロッ  
 ク不  
 致 59
- 151/163 リアル  
 タイム・ク  
 ロック・エ  
 ラー 60
- 161 CMOS バッ  
 テリー不  
 良 60
- 162 CMOS  
 チェックサ  
 ム・エ  
 ラー 60
- 162 装置構成エ  
 ラー 60
- 164 メモリー・  
 サイズが変  
 更され  
 た 61
- 1755 ハード・  
 ディスク書  
 き込み保  
 護 64
- 1762 内蔵 2 次  
 IDE チャネ  
 ル入出力ア  
 ドレスの競  
 合 64
- 1780 IDE 1 次  
 チャネル・  
 マスター・  
 ドライブ・  
 エラー 65
- 1781 IDE 1 次ス  
 レーブ・ド  
 ライブ・エ  
 ラー 65
- 1782 IDE 2 次  
 チャネル・  
 マスター・  
 ドライブ・  
 エラー 66
- 1783 IDE 2 次  
 チャネル・  
 スレーブ・  
 ドライブ・  
 エラー 66
- 1800 IRQ 設定エ  
 ラー/PnP  
 ISA カード  
 が使用不  
 可 67
- 1801 拡張 ROM  
 割り振り障  
 害 67
- 1802 入出力リ  
 ソースの競  
 合 67
- 1803 メモリー・  
 リソースの  
 競合 68
- 1962 システム・  
 ディスレッ  
 トを挿入し、  
 <Enter>を押  
 してリブ  
 ートする 68
- 201 メモリー・  
 エラー 61
- 301 PS/2 キー  
 ボード・エ  
 ラー 61
- 303 PS/2 キー  
 ボード・イ  
 ンター  
 フェース・  
 エラー 61
- 648 フロッ  
 ピー・ドラ  
 イブ書き込  
 み保護 62
- 662 フロッ  
 ピー・ディ  
 スク・コン  
 トロー  
 ラー・エ  
 ラー 63
- 662 フロッ  
 ピー・ドラ  
 イブ・エ  
 ラー 63
- 662 内蔵フロッ  
 ピー・ドラ  
 イブ・エ  
 ラー 63
- 8601/8603 PS/2  
 ポインティ  
 ング装置エ  
 ラー 68
- 962 内蔵パラレ  
 ル・ポート  
 の競合 63
- NMI 59
- ビーブ音 59
- オーディオ、マル  
 チメディア、お  
 よびモデムの問  
 題 55-57
- 2 台目のモデム  
 を使用でき  
 ない 57
- 音が聞こえな  
 い 55

- モデムが検出されない 56
- モデムのダイヤル・トーンを検出できない 57
- 工場で導入済みのプログラムとファイルの回復 69
- 最初にする質問 31-35
  - 電源ランプ 31
  - ディスプレイ 33-35
  - ビープ音 32, 47
- 診断 29
- ソフトウェアの問題 48-51
  - コンピューターの電源が切れない 51
  - サスペンド 48
- ディスプレイの問題 52-54
  - カーソルが表示されない 54
  - カーソルしか表示されない 54
  - フォント 53
  - 黄色、シアン、またはマゼンタの画面 53
- 画面が安定しない 53
- 画面がちらつく 53
- 画面が真っ白になる 53
- 画面が読めない 54
- 画面に何も表示されない 54
- 画面に色が出ない 52
- 画像の形状がおかしい 52
- 調整値 54
- ハードウェアの問題 36-47
  - エラー・コード 36
  - キーボード 43
  - 黒い画面 36
  - 警告なくコンピューターの電源が切れる 36
  - ドライブ 38-42
  - パスワード 37
  - ビープ音 36
  - プリンター 46
  - マウス 44
  - モデム 45
- 問題判別の手順 27-70
- 問題の診断と回復 29
- 問題の診断。Aptiva ヘルプを参照。

## れ

レーザー製品の安全情報 8